

令和6年度

# 教育要覧

高松市教育委員会

# 目 次

## I 高松市の概要

- 1 高松市の沿革…………… 1
- 2 世帯数・人口の推移…………… 1

## II 教育行財政

- 1 教育委員会…………… 3
- 2 教育委員会のあゆみ…………… 3
- 3 教育振興基本計画（教育に関する「大綱」）  
…………… 7
- 4 総合教育会議…………… 8
- 5 教育財政の主な重点取組事業及び  
新規・拡充事業…………… 8
- 6 教育費歳入歳出予算概要…………… 11
- 7 教育委員会の機構・事務分掌及び  
人員数…………… 13
- 8 各種審議会・協議会一覧…………… 15
- 9 高松市教育文化振興会…………… 15

## III 学校教育

- 1 市立学校の概要…………… 17
- 2 研究指定校…………… 22
- 3 特別支援教育…………… 22
- 4 生徒指導…………… 24
- 5 教職員の研修…………… 27
- 6 高等学校教育…………… 27
- 7 奨学制度…………… 29
- 8 学校（園）備品等の充実…………… 31
- 9 学校体育の概要…………… 31
- 10 学校保健の概要…………… 32
- 11 学校給食の概要…………… 33

## IV 生涯学習

- 1 生涯学習推進体制の整備…………… 36
- 2 少年教育の推進…………… 36
- 3 青年教育の推進…………… 36
- 4 家庭・地域の教育の推進…………… 37
- 5 社会教育団体への支援…………… 37
- 6 学び直しの支援…………… 37
- 7 ふれあい創作館…………… 38
- 8 学校体育施設開放事業…………… 38

## V 人権教育

- 1 学校人権教育の推進…………… 40
- 2 社会人教育の推進…………… 41

## VI 図書館

- 1 施設等の概要…………… 43
- 2 運営機構…………… 43
- 3 事業概要…………… 44
- 4 資料利用状況…………… 46
- 5 広報紙の発行…………… 48
- 6 視聴覚ホール利用状況…………… 48
- 7 その他事業…………… 49

## VII 総合教育センター

- 1 概要…………… 51
- 2 運営機構…………… 51
- 3 事業概要…………… 51

## VIII 少年育成センター

- 1 概要…………… 56
- 2 運営機構…………… 56
- 3 令和6年度の重点施策…………… 56
- 4 令和5年度活動状況…………… 57
- 5 関係団体…………… 59

## IX 生涯学習センター

- 1 施設等の概要…………… 60
- 2 運営機構…………… 60
- 3 事業概要…………… 60

## X 文化財

- 1 文化財の保護…………… 63
- 2 歴史資料館…………… 66
- 3 菊池寛記念館…………… 70

## XI 美術館

- 1 施設等の概要…………… 72
- 2 運営機構…………… 72
- 3 高松市美術館事業概要…………… 72
- 4 高松市塩江美術館事業概要…………… 84

# I 高松市の概要

## 1 高松市の沿革

本市のまちづくりは、天正16年（1588年）、豊臣秀吉の臣、生駒親正が玉藻の浦に築城を開始して「高松城」と名づけたことに始まる。以後、城下町として栄え、寛永19年（1642年）、松平頼重が入府し、以後、松平家は幕府の親藩として11代228年続き、明治維新を迎える。

明治維新の廃藩置県後、数回にわたる所属県の変遷を経て香川県庁の所在地となり、明治23年（1890年）2月15日に市制を施行、全国で40番目の市として誕生した。その後、順調な発展を続けてきたが、昭和20年（1945年）7月4日の空襲により市街地の約80%が消失し、これまで集積したすべての機能が一夜にして壊滅の状態となった。

しかし、戦後、市民と関係者の努力により戦災復興事業も積極的に進められ、経済の復興とともに、25年（1950年）には戦前を上回る市勢に回復した。

大正、昭和を通じ、6回にわたる合併で都市規模は拡大を続け、平成11年4月には、中核市へ移行するなど、四国の中枢管理都市として発展を遂げ、17年9月に塩江町と、また18年1月には牟礼町・庵治町・香川町・香南町・国分寺町の近隣5町と合併し、人口約42万人を擁する新しい高松市が誕生した。

現在、「人がつどい 未来に躍動する 世界都市・高松」を目指して、暮らす人・訪れる人それぞれがウェルビーイングな心地よさを感じ、国内だけではなく国外からも認知され注目されるまちづくりを進めている。

## 2 世帯数・人口の推移

年次	世帯数(世帯)	人口			摘要
		総数(人)	男(人)	女(人)	
昭和35年	57,897	243,538	117,075	126,463	第9回国勢調査
45年	78,565	274,367	131,304	143,063	第11回 "
55年	101,378	316,661	153,397	163,264	第13回 "
平成2年	114,809	329,684	159,311	170,373	第15回 "
12年	131,370	332,865	161,378	171,487	第17回 "
17年	137,944	337,902	163,509	174,393	第18回 "
22年	174,278	419,429	203,312	216,117	第19回 "
24年	176,199	418,528	202,624	215,904	4月1日推計
25年	177,880	418,523	202,624	215,899	"
26年	179,881	419,011	202,875	216,136	"
27年	181,727	419,381	203,181	216,200	"
28年	182,137	419,252	204,063	215,189	"
29年	183,690	418,756	203,992	214,764	"
30年	185,169	418,122	203,812	214,310	"
31年	186,977	417,606	203,638	213,968	"

年 次	世帯数(世帯)	人 口			摘 要
		総 数(人)	男(人)	女(人)	
令和 2年	188,859	416,650	203,288	213,362	〃
3年	187,524	415,943	201,058	214,885	〃
4年	188,397	413,337	199,830	213,507	〃
5年	189,653	411,006	198,686	212,320	〃
6年	191,209	409,341	198,009	211,242	〃

## II 教育行財政

## 1 教育委員会

高松市教育委員会は教育長と5人の委員で組織している合議制の執行機関である。

教育長は市長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するものの中から市長が議会の同意を得て任命する。教育委員は市長の被選挙権を持ち、人格高潔で教育、学術及び文化に関して高い見識を持つ者の中から市長が議会の同意を得て任命する。教育長の任期は3年、委員の任期は4年である。

教育長は教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表する。

### (1) 教育長及び教育委員一覧

(6. 4. 1現在)

役職名	氏名	就任年月日
教育長	小柳和代	令和4年4月1日(1期)
教育委員 (教育長職務代理者)	吉澤 潔	令和2年10月1日(2期)
教育委員	葛西優子	令和3年10月1日(3期)
教育委員	小方朋子	令和4年4月1日(2期)
教育委員	富家佐也加	令和4年7月1日(2期)
教育委員	和泉 憲	令和5年10月1日(1期)

### (2) 委員会の活動状況

(5年度)

区分	開催回数	案件	議決件数
定例会	12	29	29
臨時会	0	0	0

## 2 教育委員会のあゆみ

昭和24年	4月	・ 高松第一高等学校(前身、高松市立第一中学校、香川県高松第一中学校)と高松第二高等学校(前身、高松市立実科高等女学校、高松市立高等女学校)を統合して、高松第一高等学校と改称 ・ 太田中学校を桜町中学校に統合 ・ 高松市文化会館を設立 ・ 二番丁中学校を紫雲中学校に統合
	6月	・ 高松市文化会館を市公民館と改称
	12月	・ 観光高松博覧会の科学館を市立美術館に、国産館を市立体育館に改装
25年	2月	・ 木太中学校と花園中学校を統合し玉藻中学校と改称
	10月	・ 市立図書館落成
27年	6月	・ 松島中学校を光洋中学校と改称
	11月	・ 高松市教育委員会発足 教育委員会事務局は委員会室、総務課、学校教育課、社会教育課の1室3課で発足

29年	4月	・市立美術館に美術研究所開設	
	9月	・古高松中学校を屋島中学校に統合	
30年	7月	・市立図書館に新修高松市史編さん室設置	
31年	4月	・城内中学校新設開校	
	9月	・周辺15町村合併 (これに伴い小学校16校、中学校15校、幼稚園13園、公民館8館が市に編入され、小学校30校、中学校22校となり、市公民館は中央公民館となった。)	
	10月	・市立図書館に菊池寛文庫再設 ・菊池寛立像、中央公園内に完成	
33年	3月	・女木中学校を城内中学校に統合	
34年	12月	・市立庭球場を亀岡町に設置	
36年	3月	・市民会館完成、同会館内に中央公民館の事務所を移設	
	4月	・下笠居小学校亀水分校廃校 ・前田中学校を協和中学校に統合 ・多肥中学校、三溪中学校、仏生山中学校を統合して、龍雲中学校と改称	
	5月	・市立図書館が自動車文庫による巡回貸出開始	
37年	3月	・屋島小学校浦生分校、下笠居小学校青峰分校廃校	
	4月	・弦打中学校、鬼無中学校、香西中学校を統合して、勝賀中学校と改称	
38年	4月	・小学校第一学年に全教科書無償配布	
	12月	・高松市学校給食会設立	
40年	4月	・円座中学校、川岡中学校、檀紙中学校を統合して、香東中学校と改称	
41年	4月	・小学校全学年に教科書無償配布	
	5月	・日新小に留守家庭児童会を設置	
	6月	・花園小に留守家庭児童会を設置	
	7月	・木田郡山田町を合併(小学校34校、中学校15校、幼稚園13園となる。)	
47年	7月	・市民文化センター完成(管理課、事業課の2課で発足) ・市立図書館を市民文化センター内へ移転	
	49年	4月	・中央小学校新設開校
50年	3月	・財団法人高松学校建設公社設立	
51年	4月	・太田南小学校新設開校 ・木太地区の自治会立幼稚園を公立化し、木太幼稚園として新設開園	
	5月	・事務局に市民スポーツ課新設	
	9月	・市庁舎建設のため、事務局5課(総務課、学校教育課、保健体育課、社会教育課、市民スポーツ課)、中央公民館及び少年育成センターを市民文化センターの仮庁舎へ移転	
52年	4月	・木太南小学校新設開校 ・山田幼稚園新設開園	
	6月	・高松勤労者体育センター(50mプール)完成	
53年	3月	・市民プール(レジャープール)完成	
	4月	・屋島地区の自治会共立檀之浦幼稚園を公立化し、檀浦幼稚園として新設開園	
	7月	・事務局に文化振興課を新設	
54年	1月	・事務局6課(総務課、学校教育課、保健体育課、社会教育課、市民スポーツ課、文化振興課)及び少年育成センターを新庁舎に移転	
	4月	・高松第一高等学校に音楽科を設置	
	6月	・事務局に同和教育課を新設	
55年	4月	・古高松南小学校新設開校 ・古高松地区の自治会共立春日幼稚園を公立化し、春日幼稚園として新設開園	
	9月	・国民健康・体力づくり運動協会主催の昭和55年度体力づくり優秀組織表彰で、本市が内閣総理大臣賞を受賞	
	10月	・教育次長2人制を教育部長、教育部次長制とした。	
56年	4月	・木太北部幼稚園新設開園	
57年	4月	・高松市教育研究所を廃止し、高松市教育文化研究所として発足 ・太田中学校新設開校 ・屋島小学校分校を独立させ、屋島東小学校として開校	
	58年	4月	・屋島西小学校新設開校
	59年	4月	・古高松中学校新設開校
60年	3月	・高松第一高等学校定時制課程を廃止	
	5月	・事務局保健体育課を学校教育課に統合	

61年	4月 11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木太中学校新設開校</li> <li>・高松市総合体育館開館</li> </ul>
63年	5月 8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館を2課制（管理課、学芸課）とした。</li> <li>・高松市美術館開館</li> </ul>
平成元年	4月 8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国体準備室を新設</li> <li>・平成元年度全国高等学校総合体育大会を開催（高松市で5種目）</li> </ul>
2年	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国体準備室を市長部門へ組織替え</li> <li>・木太北部小学校新設開校</li> </ul>
3年	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適応指導教室「虹の部屋」を花園小学校内に開設</li> </ul>
4年	4月  9月 11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化部を設け、2部制とした。</li> <li>・歴史資料館及び菊池寛記念館の組織を設け、開館に備えた。</li> <li>・幼稚園3年保育を開始（2園）</li> <li>・適応指導教室「虹の部屋」を校外の民間ビル内に開設</li> <li>・学校週5日制実施（第2土曜日）</li> <li>・高松市図書館、高松市歴史資料館及び菊池寛記念館開館</li> </ul>
5年	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菊池寛全集発刊、配本開始</li> </ul>
7年	4月 7月 10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校週5日制拡大（第2・4土曜日）</li> <li>・平和記念室開館</li> <li>・第1回スポーツフェスティバルを開催</li> <li>・第3子以降の幼稚園園児の授業料減免を開始</li> </ul>
8年	4月  9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園3年保育を全18園で実施</li> <li>・院内学級を中央病院、高松赤十字病院の2院で開始</li> <li>・高松第一高等学校音楽科棟完成</li> </ul>
9年	4月  8月 10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県教委高松出張所の県教委高松讃岐教育事務所への組織変更に伴い、学校教育課教職員係を廃止</li> <li>・平成9年度全国中学校体育大会を開催（高松市で3競技）</li> <li>・第12回国民文化祭・かがわ'97を開催</li> </ul>
10年	4月  8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内学級を若竹学園に開設</li> <li>・新市民会館整備室を名称変更し、市長部門から文化部へ組織替え</li> <li>・平成10年度全国高等学校総合体育大会を開催（高松市で5競技）</li> </ul>
11年	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高松市が中核市へ移行</li> <li>・組織機構の再編成、統廃合の実施に伴い新市民会館整備室を新市民会館整備課に、美術館管理課、学芸課を美術課にそれぞれ改正</li> </ul>
12年	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律により、中核市に県費負担教職員の研修の権限が委譲されるなどした。</li> </ul>
13年	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高松市立中央公民館を廃止するとともに、社会教育課内に新たに生涯学習センター開設準備室を設置</li> </ul>
14年	4月  5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民スポーツ課内に全国スポレク祭推進室を設置</li> <li>・完全学校週5日制の実施</li> <li>・同和教育課を人権教育課に名称変更</li> <li>・高松市生涯学習センター開館</li> </ul>
15年	4月 11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新市民会館整備課を文化芸術ホール整備課に名称変更</li> <li>・第16回全国スポーツ・レクリエーション祭を開催（高松市で4競技）</li> </ul>
16年	4月 5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術ホール整備課を廃止し、文化振興課内に文化施設管理係を設置</li> <li>・文化芸術ホール（サンポートホール高松）開館</li> </ul>
17年	4月  9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務課内に新設統合校整備室を設置</li> <li>・女木小学校休校</li> <li>・塩江町合併 (これに伴い小学校3校、中学校1校、公民館1館、美術館1館が市に編入され、小学校44校、中学校19校、公民館43館、美術館2館となった。編入された小学校1校に1分校があるが、休校中。)</li> </ul>
18年	1月  4月 8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牟礼町・庵治町・香川町・香南町・国分寺町合併 (これに伴い小学校11校、中学校5校、幼稚園11園、公民館14館が市に編入され、小学校55校、中学校24校、幼稚園29園、公民館57館となり、その他教育文化等施設29施設が市に編入された。)</li> <li>・公民館41館が、コミュニティセンターへ移行</li> <li>・男木中学校休校</li> <li>・平成18年度全国中学校体育大会を開催（高松市で2競技）</li> </ul>

19年	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史資料館及び菊池寛記念館を事務局文化振興課に統合</li> <li>・ 高松市香川図書館開館</li> <li>・ 庵治第二小学校休校</li> <li>・ 鶴尾中部管理公民館を廃止</li> </ul>
20年	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、スポーツに関すること（学校における体育に関するものを除く）、文化に関すること（文化財の保護に関するものを除く）を市長部門に移管</li> <li>・ 組織機構の見直しに伴い、1部4課（文化部、文化振興課・美術館美術課・市民文化センター・市民スポーツ課）を廃止、2課（保健体育課・文化財課）を新設、中央図書館を教育部に移管</li> <li>・ 社会教育課を生涯学習課へ、教育文化研究所を教育研究所に名称変更</li> <li>・ 男木中学校再開</li> <li>・ 男木小学校休校</li> <li>・ 東植田小学校普沢分校休校</li> <li>・ 公民館2館が、コミュニティセンターへ移行</li> </ul>
	9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝日新町学校給食センター稼働</li> </ul>
21年	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 光洋・城内中学校を統合し、高松第一中学校を開校</li> <li>・ 公民館3館が、コミュニティセンターへ移行</li> </ul>
22年	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日新・二番丁・四番丁小学校を統合し、新番丁小学校を開校</li> <li>・ 松島・築地・新塩屋町小学校を統合し、高松第一小学校を開校</li> <li>・ 庵治第二小学校再開</li> <li>・ 公民館5館が、コミュニティセンターへ移行</li> </ul>
	5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適応指導教室「虹の部屋」を新塩屋町小学校跡地に移転し「新塩屋町 虹の部屋」と改称する。合わせて、適応指導教室「みなみ」を「香川町 みなみ」と改称する。</li> </ul>
23年	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男木中学校休校</li> <li>・ 高松市立塩江幼稚園開園（高松市塩江こども園開園）</li> <li>・ 子ども・子育てに関する施策を一元的に提供するため、幼稚園に関すること・留守家庭児童会・放課後こども教室に関することなどを市長部局所管とする。</li> <li>・ 高松市機構改革により、高松市教育研究所を高松市総合教育センターと改称し、総務係、研修係の2係を設置</li> </ul>
	7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高松市総合教育センター規則施行に伴い、高松市末広町5番地に移転</li> </ul>
24年	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高松市市民文化センターの廃館に伴い、松島図書館を休館</li> </ul>
	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高松市機構改革により、教育部を教育局に名称変更</li> </ul>
	8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旧四番丁小学校跡地に四番丁スクエアを開館し、同施設内に埋蔵文化財センターを開所</li> </ul>
25年	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織機構の見直しにより、文化財課を市長部門に移管</li> <li>・ 牟礼公民館がコミュニティセンターへ移行し、公民館が全廃</li> </ul>
	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第4回古代山城サミット高松大会開催</li> </ul>
26年	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男木小学校・男木中学校再開</li> </ul>
27年	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼保連携型認定こども園への移行に伴い、下笠居・塩江・原・庵治・香南幼稚園を廃園</li> <li>・ 総務課新設統合校整備室を廃止</li> </ul>
27年	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安原・上西・塩江小学校を統合し、新塩江小学校を開校</li> </ul>
	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 瓦町FLAG8階（市民交流センターIKODE瓦町）内に、中央図書館瓦町サテライトを開設</li> </ul>
28年	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 亀阜小学校みねやま分校、紫雲中学校みねやま分校を開校</li> </ul>
	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ たかまつミライエ（松島図書館跡地）2階に、夢みらい図書館を開館</li> </ul>
29年	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 檀浦幼稚園を休園。</li> </ul>
	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼保連携型認定こども園への移行に伴い、川東幼稚園を廃園</li> <li>・ 組織機構見直しにより、高松市総合教育センター内に新たに支援係を設置</li> </ul>
30年	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庵治第二小学校休校</li> <li>・ 幼稚園一時預かり事業 試行実施（2園）</li> </ul>
31年	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総務課内に学校施設整備室を設置</li> </ul>
令和2年	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼保連携型認定こども園への移行に伴い、林・檀浦幼稚園を廃園</li> <li>・ 田井幼稚園を休園</li> <li>・ 幼稚園一時預かり事業 試行実施（5園）</li> </ul>
	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織機構の見直しにより、高松市総合教育センター内に新たに幼児教育係を設置</li> <li>・ 六条町学校給食センター稼働</li> </ul>

令和3年	3月	・ 鶴尾中学校を廃校
	4月	・ 幼保連携型認定こども園への移行に伴い、山田・浅野幼稚園を廃園 ・ 高松市総合教育センター内にICT教育推進室を設置 ・ こども園総務課及びこども園運営課を統合し、こども保育教育課を設置。同課内に施設対策室及び運営支援室を設置
	9月	・ 高松第一高等学校新校舎棟の供用開始
令和4年	4月	・ 組織機構の見直しにより、保健体育課学校給食係を学校給食運営係に改称し、また、新たに学校給食総務係を設置 ・ 幼稚園一時預かり事業 本格実施(8園)
令和5年	4月	・ 下笠居小学校五色台分校、下笠居中学校五色台分校を開校
令和6年	3月	・ 春日幼稚園を廃園
	4月	・ 幼稚園一時預かり事業 (10園) ・ 大町幼稚園を田井保育所の施設へ移転
	9月	・ 香南小学校校舎等を香南中学校敷地内に改築し、供用開始

### 3 教育振興基本計画（教育に関する「大綱」）

平成22年3月に「高松市教育振興基本計画」、28年3月に「第2期高松市教育振興基本計画」を策定し、令和2年2月に見直しを行い、学校・家庭・地域及び関係団体と一体となって教育施策に取り組んできた。さらには、社会情勢の変化や国の動向等を踏まえ、第2期計画までの教育の成果と課題を整理し、多様な教育ニーズへの対応等、これからの教育の施策の方向性を示すため、令和6年2月に「第3期高松市教育振興基本計画」を策定した。

なお、同計画は、平成27年4月から施行された新教育委員会制度において、地方公共団体の長に策定が義務付けられた、教育の振興に関する施策の大綱として位置付けている。

#### (1) 計画期間（第3期計画）

令和6年度から令和13年度までの8年間

#### (2) 基本理念

◎「高松を愛し 夢と志を持って 一人ひとりが輝く教育」

子どもたちがふるさとへの愛着や誇りを人生の揺るぎない礎とし、自らの良さや可能性に気づき、夢と志を持って未来を見つめ、また、多様な人々との関わりの中で、未来を切り拓く力を育めるよう教育の推進・充実に取り組む。

#### (3) 施策体系

**ア** 生きる力を育む学校教育の充実

- 確かな学力と個性を伸ばす教育の推進
- 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
- ふるさとの未来を支える教育の推進

**イ** 安全・安心で魅力ある教育環境の充実

- 学校教育環境の整備・充実
- 多様な教育ニーズに対応した教育機能の充実
- 教員の資質向上と教育指導体制の充実
- 安全で安心な教育環境の充実

**ウ** 家庭・地域とともに育む教育力の向上

- 家庭・地域の教育力の向上
- 学校・家庭・地域の連携・協働の推進
- 青少年の健全育成の推進

**エ** 生涯にわたり心豊かに学べる環境づくり

□ 多様な学習機会の充実

□ 生涯学習施設・機能の充実

## 4 総合教育会議

平成27年度からの新しい教育委員会制度では、合議体として存続する教育委員会に、引き続き、執行権限を残しつつ、地方公共団体の長と教育委員会で構成する「総合教育会議」を新設し、教育の振興に関する施策の大綱の策定を初め、教育の条件整備など地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策や、児童生徒の生命又は身体の保護等、緊急事態への対処などについて、協議を行うこととなった。

### (1) 令和5年度開催状況

#### ア 第1回 令和5年7月20日（木）

協議事項

- ・地域と学校との協働体制の強化について
- ・シビックプライドの醸成につながる教育の推進について

#### イ 第2回 令和6年2月15日（木）

協議事項

- ・サンクリスタル高松リニューアル事業の概要と3館連携について
- ・次期高松市教育振興基本計画（大綱）（案）について

## 5 教育財政の主な重点取組事業及び新規・拡充事業

（単位 千円）

科 目	令和5年度		令和6年度		比 較 増 減	
	当初予算額 A	構成比 %	当初予算額 B	構成比 %	金 額 B-A	前年度比 B/A %
1 議 会 費	743,887	0.4	742,456	0.4	△ 1,431	99.8
2 総 務 費	14,318,660	8.5	14,407,499	8.4	88,839	100.6
3 民 生 費	73,712,683	43.6	77,742,497	45.2	4,029,814	105.5
4 衛 生 費	17,023,924	10.1	16,535,345	9.6	△ 488,579	97.1
5 労 働 費	207,423	0.1	359,241	0.2	151,818	173.2
6 農 林 水 産 業 費	1,932,586	1.1	2,208,887	1.3	276,301	114.3
7 商 工 費	3,269,949	1.9	2,180,886	1.2	△ 1,089,063	66.7
8 土 木 費	11,324,979	6.7	13,756,266	8.0	2,431,287	121.5
9 消 防 費	5,507,982	3.3	5,999,324	3.5	491,342	108.9
10 教 育 費	24,939,968	14.8	19,371,918	11.3	△ 5,568,050	77.7
11 災 害 復 旧 費	10,000	0.0	10,000	0.0	0	100.0
12 公 債 費	15,807,959	9.4	18,485,681	10.8	2,677,722	116.9
13 予 備 費	100,000	0.1	100,000	0.1	0	100.0
合 計	168,900,000	100.0	171,900,000	100.0	3,000,000	101.8

(★：重点取組事業、新：新規事業、拡：拡充事業)

- 拡 特別支援教育推進事業 【学校教育課】** [187,839 千円]
- 拡 学校における支援を必要とする児童生徒への日常生活の介助や学習を支援する学校生活支援員を増員配置 155人→165人
- ★ **拡 教育ICT整備・活用推進事業** [139,400 千円]
- 【総合教育センター ICT教育推進室】**
- 拡 1人1台端末や電子黒板などのICT機器を活用し、授業改善を推進
- 拡 電子黒板の整備
- 新 小学校の特別教室に電子黒板を整備
- ・ ICTサポートスタッフの派遣
  - ・ ICT支援員の配置
- ★ **新 子どものシビックプライド醸成事業 【学校教育課】** [2,568 千円]
- ・ 高松プライドプロジェクト
  - ・ 高松の魅力・良さを伝えるPR動画（ショートムービー）を作成
  - ・ 高松の魅力発見プロジェクト
  - ・ 高松まるっとマップの作成
- ★ **拡 部活動の地域移行推進事業 【保健体育課】** [21,409 千円]
- ・ 部活動の地域移行等に向けた実証事業の実施
    - ・ 地域部活動移行のための検討委員会の開催
- 新 コーディネーターの配置（5人）
- ・ 部活動指導員の配置
  - ・ モデル事業の実施（3事業）
    - ・ 拠点校部活動等の推進（牟礼中学校）
    - ・ 大学等との連携した合同活動（勝賀中学校、下笠居中学校）
    - ・ T E S C（タカマツ エンジョイ スポーツ クラブ）の活性化
- ・ **学校給食費管理事業 【保健体育課】** [273,839 千円]
- ・ 学校給食用食材費の物価高騰分を公費負担
- 拡 小・中学校施設老朽化対策事業** [1,120,188 千円]
- 【教育局総務課 学校施設整備室】**
- ・ 香南小学校：校舎改築工事、旧校舎解体工事等
- 新 花園小学校：南棟大規模改修実施設計等
- ・ 植田小学校：急傾斜地崩壊対策工事、北棟校舎大規模改修実施設計等
- 新 協和中学校：東棟校舎改築基本設計
- ・ 香東中学校：東棟便所等設置工事等

- ・ 環境測定（アスベスト調査）等
- ・ 境界確定業務

**拡 学校給食調理場整備事業 【保健体育課】** [124,895 千円]

- ・ 高松市学校給食共同調理場整備検討委員会の開催
- 新 朝日新町学校給食センター洗浄ラインオーバーホール**
- ・ 朝日新町学校給食センターボイラー更新工事等
  - ・ 中央小学校給食調理場真空冷却機更新
  - ・ 個別整備基本計画策定業務等（東部エリア）

**★ ・ 小・中学校バリアフリー化等施設整備事業** [27,804 千円]

**【教育局総務課 学校施設整備室】**

- ・ 児童・生徒が、学校施設を安全かつ円滑に利用できるよう、小・中学校にエレベーターを設置
  - ・ 実施設計業務委託（小学校3校・中学校1校）

**★ ・ 小・中学校体育館空調設備設置事業** [13,370 千円]

**【教育局総務課 学校施設整備室】**

- ・ 熱中症対策や避難所機能の向上等を図るため、小・中学校の体育館に空調設備を設置
  - ・ 空調設備設置調査業務

**★ 新 地域学校協働活動推進事業 【生涯学習課】** [1,096 千円]

- ・ 「学校を核とした地域づくり」を推進
  - ・ モデル校の実践支援
  - ・ 地域等への周知啓発及び研修会の開催
  - ・ 小・中学校への個別訪問

**★ 拡 サンクリスタル高松リニューアル事業 【中央図書館】** [199,360 千円]

**拡 サンクリスタル高松リニューアル事業**

- ・ 大規模改修実施設計

**拡 図書館システム再構築業務**

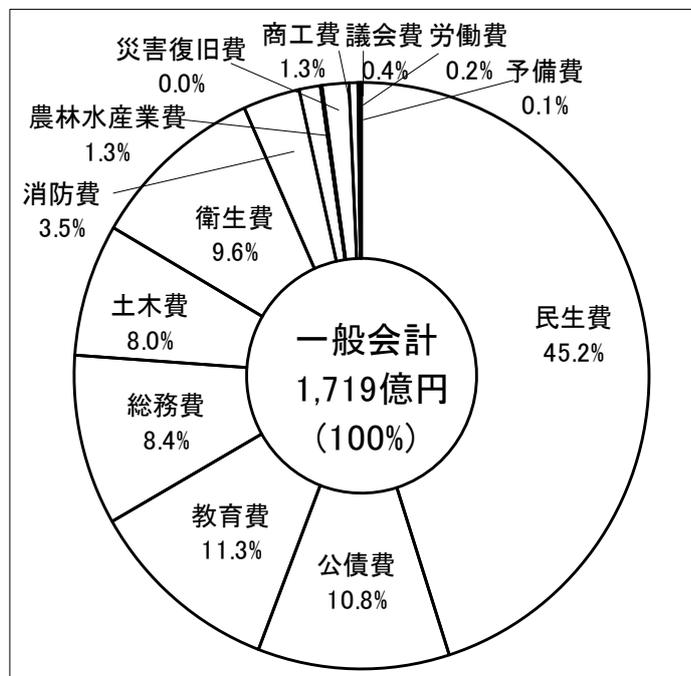
- ・ 図書館アプリ導入等

## 6 教育費歳入歳出予算概要

令和6年度高松一般会計予算額は、1,719億円で、前年度当初予算額対比101.8%、金額にして30億円の増加となっている。このうち、教育費予算は、193億7,191万8千円で、本市一般会計予算に占める割合は11.3%となっている。

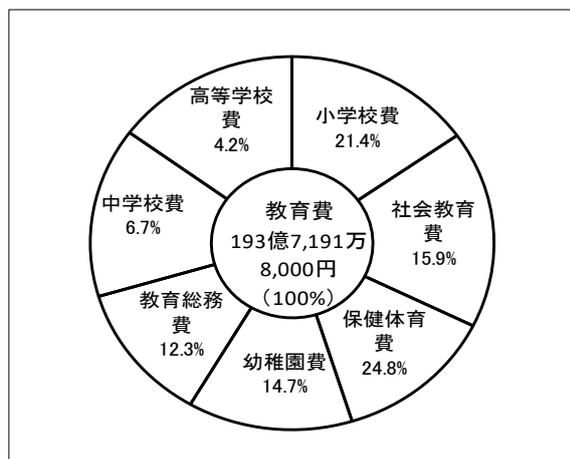
### (1) 一般会計予算

科目	予算額(千円)	構成比(%)
	千円	%
議会費	742,456	0.4
総務費	14,407,499	8.4
民生費	77,742,497	45.2
衛生費	16,535,345	9.6
労働費	359,241	0.2
農林水産業費	2,208,887	1.3
商工費	2,180,886	1.3
土木費	13,756,266	8.0
消防費	5,999,324	3.5
教育費	19,371,918	11.3
災害復旧費	10,000	0.0
公債費	18,485,681	10.8
諸支出金	0	0.0
予備費	100,000	0.1
計	171,900,000	100.0

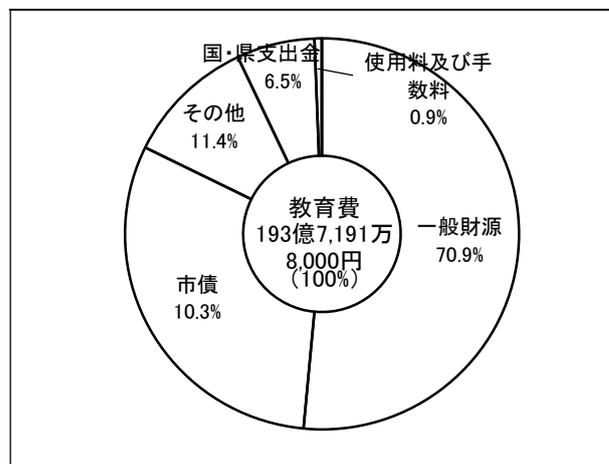


### (2) 教育費予算

(目的別内訳)



(財源内訳)



区分	予算額(千円)	構成比(%)
教育総務費	2,378,284	12.3
小学校費	4,138,231	21.4
中学校費	1,307,493	6.7
高等学校費	812,621	4.2
幼稚園費	2,851,165	14.7
社会教育費	3,082,572	15.9
保健体育費	4,801,552	24.8
計	19,371,918	100.0

区分	予算額(千円)	構成比(%)
国・県支出金	1,266,244	6.5
市債	1,999,800	10.3
使用料及び手数料	168,383	0.9
その他	2,208,671	11.4
一般財源	13,728,820	70.9
計	19,371,918	100.0

### (3) 教育費の推移 (当初予算)

(単位 千円)

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
教育費	(教育総務費)	1,976,321	2,121,567	2,139,618	2,211,958	2,378,284
	(小学校費)	3,062,951	2,678,564	2,711,442	4,289,048	4,138,231
	(中学校費)	1,529,215	1,809,405	2,624,419	2,083,292	1,307,493
	(高等学校費)	2,560,447	3,982,032	2,666,283	3,201,059	812,621
	(幼稚園費)	2,889,908	2,415,980	2,358,425	2,491,401	2,851,165
	(社会教育費)	2,577,183	2,508,200	3,061,834	6,337,451	3,082,572
	(保健体育費)	8,986,370	2,420,684	2,304,410	4,325,759	4,801,552
	総 額	23,582,395	17,936,432	17,866,431	24,939,968	19,371,918
人 口	417,606	424,993	424,258	420,545	418,381	
人口一人当たり教育費	39	55	42	59	46	

### (4) 小・中学校建設費の年度別推移 (決算)

(単位 千円)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
小学校	674,889	126,815	2,925	49,806	1,086,780
中学校	33,628	39,559	688,130	1,174,484	357,912
合 計	708,517	166,374	691,055	1,224,290	1,444,692
教育費に占める割合 (%)	3.00	0.92	3.87	6.85	5.79

### (5) 学校管理費の年度別推移 (当初予算)

(その1)

(単位 千円)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
小学校費	2,385,697	2,224,378	2,363,751	3,931,170	3,603,035
中学校費	1,158,939	1,390,708	2,327,650	1,772,940	1,016,952
高等学校費	2,515,639	3,933,271	2,619,123	3,145,060	750,257
幼稚園費	1,427,456	963,267	990,515	1,097,649	1,249,580

(その2)

(単位 千円)

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
小学校	学校当たり	50,760	47,327	50,293	83,642	76,660
	学級当たり	2,530	2,319	2,496	4,049	3,761
	児童1人当たり	106	99	108	181	170
中学校	学校当たり	50,389	63,214	105,802	80,588	46,225
	学級当たり	2,941	3,434	5,582	4,367	2,511
	生徒1人当たり	107	128	213	166	96
高等学校	学校当たり	2,515,639	3,933,271	2,619,123	3,145,060	750,257
	学級当たり	104,818	171,012	119,051	149,765	34,103
	生徒1人当たり	2,761	4,500	3,144	4,001	956
幼稚園	園当たり	64,884	50,698	52,132	57,771	69,421
	学級当たり	21,961	16,899	17,377	19,957	24,502
	園児1人当たり	1,677	1,498	1,711	2,296	2,947

## 7 教育委員会の機構・事務分掌及び人員数

(6. 4. 1 現在)





## 8 各種審議会・協議会一覧

会 議 名	定 数	任 期	設 置 根 拠 条 例
高松市小中学校校区審議会	10 人以内	2 年	高松市小中学校校区審議会条例
高松市奨学生選考委員会	4 人以内	委嘱の日から 3月31日まで	高松市奨学金支給条例
高松市高等学校等入学準備金貸付選考委員会	4 人以内	委嘱の日から 3月31日まで	高松市高等学校等入学準備金貸付条例
高松市就学指導委員会	7 人以内	2 年	高松市就学指導委員会条例
高松市学校結核対策審議会	12 人以内	2 年	高松市学校結核対策審議会条例
高松市社会教育委員会議	10 人以内	2 年	高松市社会教育委員設置条例
高松市生涯学習センター等運営協議会	12 人以内	2 年	高松市生涯学習センター条例
高松市少年育成センター運営協議会	15 人以内	2 年	高松市少年育成センター条例
高松市文化財保護審議会	10 人以内	2 年	高松市文化財保護条例
高松市歴史資料館等協議会	11 人以内	2 年	高松市歴史民俗分野及び美術分野 社会教育施設協議会条例
高松市図書館協議会	13 人以内	2 年	高松市図書館条例
高松市美術館協議会	15 人以内	2 年	高松市歴史民俗分野及び美術分野 社会教育施設協議会条例
高松市美術品等収集審査会	8 人以内	2 年	高松市美術品等収集審査会条例

## 9 高松市教育文化振興会

本会の前身であった百十四教育文化振興会では、昭和 46 年 3 月の設置以来、百十四グループからの寄附金を原資とし、功労者等に対する表彰事業等を行ってきたが、平成 7 年 4 月、藤澤 健 氏からの寄附金 4,000 万円を交付金として受け入れることに伴い、本会の名称を高松市教育文化振興会に変更した。以後、本会の資産は、個人等からの寄附金により約 4,500 万円となっており、その運用益等により、高松市の教育文化の振興を図ることを目的として、各種事業を実施している。

### (1) 令和 5 年度実施事業

#### ア 教育文化功労者表彰

森山 亮

田中 健二

#### イ 全国的な大会等で優秀な成績をあげた児童・生徒に対する表彰

文化系 個人 33 人 2 団体

スポーツ系 個人 60 人 1 団体

ウ 児童生徒科学賞受賞者

最優秀賞（個人 2人）

優秀賞（個人 2人）

エ 学校優秀教職員受賞者（7人）

オ 特色ある学校づくり事業に要する経費に対する助成（12校）

新番丁小学校	「広げようボランティアの心」事業
林小学校	「未来に向かって～SDGsプロジェクト地球をみんなで守り隊～」事業
太田南小学校	「地域安全チーム『STみなみ』」事業
木太南小学校	「木太南発！夢づくりプロジェクト」事業
古高松南小学校	「響き合いながら、主体的に学ぶ児童の育成をめざした外国語学習」事業
屋島東小学校	「地域とともにある学校づくり」事業
庵治小学校	「入学記念石碑」事業
浅野小学校	「つなげよう！浅野小学校ひょうげフェスタ」事業
川東小学校	「『龍っ子フェスティバル』で地域と学校がWinWinの連携へ！」事業
屋島中学校	「ハートフル屋島 ～地域を愛し、地域に貢献！思いやりのある温かい学校づくり」事業
庵治中学校	「庵治中発！～地域でふれ合い隊～文化交流」事業
川島こども園	「土づくりからはじまる、わたしの大切な体」事業

# III 学 校 教 育

# 1 市立学校の概要

## (1) 小学校の児童・教職員数

(6.5.1 現在)

区分 学校名	学級数				児童数			教職員数					
	計	単式	複式	特別 支援	計	男	女	本務教員数			本務職員数		
								計	男	女	計	男	女
新番丁	29	23		6	704	349	355	44	14	30	3		3
亀阜本校	22	16		6	503	267	236	44	15	29	8	2	6
みねやま分校	1		1		2	2		1	1				
栗林園	42	34		8	1,146	574	572	63	12	51	3	1	2
花園	12	10		2	222	107	115	18	5	13	3	1	2
高松第一	26	18		8	592	334	258	38	11	27	1		1
鶴尾	9	6		3	149	73	76	19	7	12	6		6
太田	29	22		7	725	371	354	41	12	29	6		6
木太	20	13		7	427	216	211	30	12	18	4	1	3
古高	21	16		5	458	227	231	31	9	22	5	3	2
屋島	15	12		3	311	167	144	21	7	14	4	2	2
前田	11	6		5	174	81	93	18	7	11	3		3
川添	23	17		6	514	255	259	33	11	22	1		1
林	35	28		7	924	465	459	50	14	36	3		3
三溪	22	18		4	498	263	235	32	8	24	5		5
仏生山	25	19		6	580	323	257	37	11	26	5	1	4
香西	22	15		7	446	244	202	35	12	23	5	2	3
一宮	27	20		7	619	323	296	39	14	25	7	2	5
多肥	46	36		10	1,253	607	646	67	17	50	3	1	2
川岡	17	11		6	272	148	124	25	8	17	5		5
円座	28	22		6	729	365	364	42	9	33	6	1	5
檀紙	24	18		6	590	297	293	32	9	23	5	3	2
弦打	23	18		5	497	267	230	30	10	20	5	1	4
鬼無	15	12		3	283	142	141	21	5	16	4	1	3
下笠居	11	8		3	209	99	110	19	8	11	4	2	2
五色台分校	1			1	3	3		2	1	1			
女木(休校)													
男木	4	1	2	1	9	5	4	6	3	3	1		1
川島	22	15		7	440	231	209	31	11	20	1		1
十河	20	14		6	432	219	213	31	9	22	1		1
東植田本校	5	2	2	1	24	12	12	8	3	5	1		1
菅沢分校(休校)													
植田	9	6		3	71	41	30	15	5	10	1		1
中央	33	26		7	855	440	415	50	16	34	6		6
太田南	34	27		7	872	430	442	49	17	32	9	3	6
木太南	24	18		6	579	293	286	35	8	27	4	1	3
古高南	32	24		8	739	394	345	41	13	28	7	3	4
屋島東	11	6		5	79	35	44	16	4	12	3	2	1
屋島西	15	12		3	290	140	150	25	9	16	4	1	3
木太北部	16	12		4	382	194	188	23	9	14	6	3	3
塩江	7	2	2	3	45	26	19	14	5	9	2		2
牟礼	15	11		4	256	143	113	23	5	18	1		1
牟礼北	19	13		6	425	208	217	28	10	18	2		2
牟礼南	10	7		3	170	95	75	15	5	10	1		1
庵治	9	6		3	124	70	54	14	6	8	1		1
庵治第二(休校)													
大野	20	16		4	455	230	225	26	7	19	2		2
浅野	15	12		3	289	124	165	23	11	12	1		1
川東	13	11		2	273	138	135	20	10	10	1		1
香南	17	12		5	294	155	139	26	11	15	1		1
国分寺北部	25	19		6	638	326	312	35	7	28	5		5
国分寺南部	27	20		7	655	332	323	40	15	25	6	2	4
計 52校 3分校	958	710	7	241	21,226	10,850	10,376	1,426	448	978	171	39	132

## (2) 小学校施設の現況

(6.5.1 現在)

学校名	所在地	創立年月	建物面積 (㎡)						敷地面積 (㎡)
			校舎		屋内運動場		給食場		
			木造	非木造	木造	非木造	木造	非木造	
新番丁	錦町 2-14-1	H22. 4		8,132		2,398			13,220
亀阜 本校	亀岡町 10-1	M 5. 4		6,744		950			15,919
みねやま分校	西宝町 2-6-9	H28. 4							
栗 林	栗林町 2-10-7	M17. 6		12,107		1,032			10,270
花 園	花園町 2-7-7	S17. 9		5,097		770			14,876
高松第一	松島町 2-14-5	H22. 4		7,463		1,436			18,098
鶴 尾	松並町 636-1	M39. 9		5,426		866			17,903
太 田	伏石町 845-1	M30. 4		6,180		1,053		123	15,657
木 太	木太町 3480-1	M19. 4		7,202		1,038		256	19,527
古高松	高松町 398	M 5. 4		6,697		1,052			21,434
屋 島	屋島西町 1205-1	M20. 4	23	6,697		1,038			19,622
前 田	前田東町 819-3	M20. 4		4,292		879		201	13,722
川 添	東山崎町 207-1	M20. 4		6,787		1,050			16,576
林	林町 1108-1	M25. 9		9,070		863			16,578
三 溪	三谷町 2173-1	M33. 5		4,239		662		162	11,850
仏 生	仏生山町甲 2461	M25. 4		4,816		1,038		201	17,909
香 西	香西南町 703-1	M20. 4		5,852		1,066			14,474
一 宮	一宮町 672-1	M34. 12	10	6,367		1,050			13,205
多 肥	多肥上町 902-2	M25. 4	65	9,860		863			23,145
川 岡	川部町 1552	M20. 4		3,067		863		162	13,974
円 座	円座町 1630-2	M20. 4		5,091		845			11,573
檀 紙	御麩町 816	M20. 4		4,842		1,050		201	15,331
弦 打	鶴市町 374-1	M25. 7		4,955		1,050		201	14,491
鬼 無	鬼無町佐藤 607-1	M25. 9		3,721		863		235	13,280
下 笠	生島町 345	M20. 4		4,294		878			14,047
五色台分校	中山町 1501-192	R 5. 4							
女木(休校)	女木町 236-2	M 5. 4		953		681		45	2,900
男 木	男木町 1988	M17. 11		544					7,349
川 島	川島東町 864-1	M26. 2		4,865		883			11,465
十 河	十川西町 366-5	M20. 3		4,917		863			11,966
東植田本校	東植田町 2008	M20. 4		1,741		736			9,371
菅沢分校(休校)	菅沢町 339	M45. 4		497		464		45	3,850
植 田	西植田町 2337	M18. 9		2,137		642			16,669
中 央	松縄町 1138	S49. 4		6,955		845		251	17,647
太 田	太田下町 1823-1	S51. 4		6,665		1,053			19,290
木 太	木太町 1530-1	S52. 4		6,341		1,053		235	18,218
古高松南	新田町甲 2605	S55. 4		4,935		1,050		202	16,349
屋 島	屋島東町 942-1	S57. 4		2,307		681		162	9,167
屋 島	屋島西町 2469	S58. 4		5,767		933		201	19,732
木太北部	木太町 2613	H 2. 4		5,577		888			16,030
塩 江	塩江町安原上 231 - 1	H27. 4		3,036		1,630			10,493
牟 礼	牟礼町大町 1560	M 8. 2	15	3,925		1,011			13,181
牟 礼	牟礼町牟礼 2900-1	S51. 4		5,283		860			14,482
牟 礼	牟礼町大町 1115-1	S55. 4		3,448		665			15,876
庵 治	庵治町 790-1	M 5. 10		4,736		2,344			28,987
庵治第二(休校)	庵治町 6034-1	M39. 4		533		522			2,176
大 野	香川町大野 1045-1	M 5. 6		4,278		800			17,508
浅 野	香川町浅野 3088	M 3. 2		4,713		855			22,898
川 東	香川町川東上 1865-8	M29. 6		4,440		840			17,563
香 南	香南町横井 1008	S39. 4		3,501		727			16,676
国分寺北部	国分寺町新居 1880	M25. 4		5,722		1,262		258	15,874
国分寺南部	国分寺町福家甲 3005	M25. 4		6,195		1,215		268	17,538
計 52 校 3 分校			113	253,009		48,156		3,409	749,936

※ 高松第一小学校の敷地は高松第一中学校と、男木小学校の敷地は男木中学校と、塩江小学校の敷地は塩江中学校と併用。みねやま分校の建物及び敷地は県所管。五色台分校の建物及び敷地は社会福祉法人四恩の里所有。

### (3) 中学校の生徒・教職員数

(6.5.1 現在)

区分 学校名	学級数				生徒数			教職員数					
	計	単式	複式	特別 支援	計	男	女	本務教員数			本務職員数		
								計	男	女	計	男	女
桜 町	26	23		3	774	410	364	55	30	25	2	1	1
紫雲 本校	24	19		5	655	351	304	41	21	20	2		2
みねやま分校	2	1	1		3	3		5	4	1			
玉 藻	19	15		4	482	244	238	37	15	22	3		3
高松第一	11	9		2	299	162	137	26	13	13	2	1	1
屋 島	15	11		4	366	203	163	29	18	11	2		2
協 和	29	23		6	778	401	377	52	27	25	2		2
龍 雲	39	32		7	1,092	571	521	66	33	33	2		2
勝 賀	24	19		5	648	328	320	43	21	22	2		2
一 宮	13	10		3	333	154	179	30	16	14	3	1	2
香 東	27	23		4	790	392	398	47	26	21	3		3
下 笠 居	6	3		3	98	50	48	15	10	5	1		1
五色台分校	1			1	8	4	4	5	3	2			
男 木	1		1		6	3	3	3	1	2			
山 田	21	15		6	537	282	255	41	13	28	3	1	2
太 田	23	19		4	625	289	336	42	19	23	2		2
古 高 松	20	16		4	544	286	258	37	21	16	1	1	
木 太	29	23		6	761	408	353	50	28	22	3	1	2
塩 江	5	3		2	32	15	17	12	4	8	7	1	6
牟 礼	16	12		4	372	184	188	28	13	15	1		1
庵 治	4	3		1	60	29	31	13	8	5	1	1	
香川第一	20	15		5	510	288	222	40	22	18	3	1	2
香 南	7	6		1	171	84	87	18	7	11	2	1	1
国 分 寺	23	19		4	650	329	321	46	23	23	6	3	3
計 24 校 2 分校	405	319	2	84	10,594	5,470	5,124	781	396	385	53	13	40

### (4) 中学校施設の現況

(6.5.1 現在)

学校名	所在地	創立 年月	建物面積 (㎡)						敷地面積 (㎡)
			校舎		屋内運動場		武道場		
			木造	非木造	木造	非木造	木造	非木造	
桜 町	桜町 2-12-4	S22. 5	10	7,378		1,077		350	18,259
紫雲 本校	紫雲町 8-25	S22. 4		8,621		1,862		450	21,955
みねやま分校	西宝町 2-6-9	H28. 4							
玉 藻	上福岡町 714-1	S25. 2		8,184		2,082			28,883
高松第一	松島町 2-14-5	H21. 4		6,298		1,866		450	15,204
屋 島	屋島中町 295	S22. 4		6,553		1,952		350	17,414
協 和	元山町 88-2	S28. 4		6,087		909		350	19,456
龍 雲	出作町 331-2	S36. 4		7,898		1,072		350	21,402
勝 賀	香西南町 565	S37. 4		7,214		1,049		350	22,162
一 宮	一宮町 1185-1	S22. 4	45	5,112		904		350	23,091
香 東	円座町 771	S40. 4		7,699		1,073		350	21,547
下 笠 居	生島町 372-1	S22. 5		2,906		915		350	13,104
五色台分校	中山町 1501-192	R 5. 4							
男 木	男木町 1988	S22. 5	349	252		686			498
山 田	川島東町 1257-1	S32. 4		8,283		1,709		712	21,668

学校名	所在地	創立年月	建物面積 (㎡)						敷地面積 (㎡)
			校舎		屋内運動場		武道場		
			木造	非木造	木造	非木造	木造	非木造	
太田	太田下町 1800	S57. 4		6,307		1,164		350	18,613
古高松	新田町甲 190-1	S59. 4		6,962		1,154		350	25,913
木太	木太町 5059-3	S61. 4		6,494		1,154		350	27,295
塩江	塩江町安原上 231-1	S31. 9		2,504		1,026			11,214
牟礼	牟礼町牟礼 46-2	S22. 4		7,213		1,055		545	31,023
庵治	庵治町 691-1	S22. 5		3,868		1,491		727	21,105
香川第一	香川町浅野 1188	S33. 4		7,214		1,914		672	46,884
香南	香南町横井 801	S27. 2		4,253		3,352			21,599
国分寺	国分寺町新居 1131-1	S36. 5		7,277		1,920			25,093
計 24 校 2 分校			404	134,577		31,386		7,406	473,382

※ 高松第一中学校の敷地は高松第一小学校と、男木中学校の敷地は男木小学校と、塩江中学校の敷地は塩江小学校と併用。みねやま分校の建物及び敷地は県所管。五色台分校の建物及び敷地は社会福祉法人四恩の里所有。

### (5) 高等学校の生徒・教職員数

(6.5.1 現在)

学校名	区分	学級数	生徒数	教職員数											
				校長	教頭	教諭	常勤講師	代講 講師 常勤	養助 養教・ 助	実習 手指導	時間 講師	事務	用務	会計 任用 年度	計
高松第一高等学校		22	785	1	2	55	3	2	2	1	33	6	1	6	112

### (6) 高等学校施設の現況

(6.5.1 現在)

学校名	所在地	創立年月	建物面積 (㎡)				敷地面積 (㎡)
			校舎		屋内運動場		
			木造	非木造	木造	非木造	
高松第一高等学校	桜町二丁目 5 番 10 号	S 3. 4		14,871		6,446	41,669

### (7) 幼稚園の園児・教職員数、施設の現況

(6.5.1 現在)

園名	区分	所在地	面積 (㎡)		学級数	園児数	3 歳児 (再掲) 入園数	園長			教諭	講師	事務	用務	計
			園舎	敷地				本務	嘱託	兼務					
前田		前田東町 788-1	691	1,525	3	13	6		1		3	2			6
川添		東山崎町 601	969	4,055	3	24	9	1			4	4	1		10
三溪		三谷町 2316-2	520	1,966	3	25	6	1			4	3			8
香西		香西西町 59-1	958	3,454	3	27	8	1			4	3			8
一宮		一宮町 1233-2	804	2,144	3	15	5	1			3	2			6
多肥		多肥上町 990-2	620	1,702	3	40	12	1			4	4	1		10
川岡		川部町 524-3	480	2,017	3	8	1	1			4	2			7
円座		円座町 125-2	571	2,285	3	23	5		1		4	2			7
檀紙		御麩町 776-1	566	2,203	3	30	8	1			3	2			6
弦打		鶴市町 360	546	2,353	3	13	4	1			3	2			6
鬼無		鬼無町佐藤 128-1	593	2,112	2	11	0	1			2	2			5
木太		木太町 3901-1	991	2,458	3	39	13	1			3	5	1		10
木太北部		木太町 2604-5	889	2,638	3	14	5	1			3	2			6
栗山		牟礼町牟礼 3028	590	1,841	3	26	7	1			4	3	1		9
田井(休園)		牟礼町牟礼 1243-2		2,199											

区分 園名	所在地	面積 (㎡)		学級数	園児数	3 歳児 入園 数 (再掲)	園長			教諭	講師	事務	用務	計
		園舎	敷地				本務	嘱託	兼務					
大町	牟礼町牟礼 100-1			1	1	0			1	2	0	1		4
大野	香川町大野 1331-1	642	2,815	3	26	8	1			4	2			7
国分寺北部	国分寺町新居 1870-2	1,183	2,991	3	41	8	1			3	4	1		9
国分寺南部	国分寺町福家甲 3123-1	1,694	5,645	3	48	20	1			4	4	1		10
計 19 園		13,307	46,403	51	424	125	15	2	1	61	48	7	0	136

※ 大町幼稚園は田井保育所の施設に移転。

## (8) 学校施設の維持管理

維持管理のうち、原状復旧的なものについては修繕事業（需用費）、改造・改修等については改造改修事業（工事請負費）により行っている。

また、屋内運動場屋根改修、プール改修については定期的に行っている。

### ア 修繕事業（当初予算）

（単位 千円）

区分	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	計
校（園）数	49(その他1分校)	22	1	18	90(その他1分校)
当初予算額	95,473	44,101	2,500	9,085	151,159

### イ 改造改修事業（当初予算）

#### (ア) 小学校

（単位 千円）

区分	校舎改修	屋内運動場改修	プール施設関係	給食場整備	運動場等整備	屋外付帯施設整備	計
当初予算額	118,936	13,310	72,794	0	735	9,485	215,260

#### (イ) 中学校

（単位 千円）

区分	校舎改修	屋内運動場改修	プール施設関係	給食場整備	運動場等整備	屋外付帯施設整備	計
当初予算額	65,735	0	44,640	0	315	5,121	115,811

#### (ウ) 高等学校

（単位 千円）

区分	校舎改修	校舎等建設	計
当初予算額	0	0	0

#### (エ) 幼稚園

（単位 千円）

区分	園舎等改修
当初予算額	32,663

## 2 研究指定校

指定区分	学校名	指定年度	研究分野
国	高松第一高等学校	R2～R6	スーパーサイエンスハイスクール研究事業
県	国分寺中学校 円座小学校	R6	学力向上モデル校事業（「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現推進モデル校事業）
〃	香川第一中学校	R6	学力向上モデル校事業（課題解決型学習実践モデル校事業）
〃	塩江中学校	R6	学力向上モデル校事業（外国語教育推進モデル校事業）
〃	牟礼中学校	R6	道徳教育地域支援委託事業
〃	高松第一小学校 三溪小学校	R6	明日も行きたくなる学校づくりプロジェクト事業
〃	桜町中学校 栗林小学校 山田中学校 中央小学校	R6	校内サポートルーム(KSR)研究指定校事業
〃	太田南小学校	R6	NIE（教育に新聞を）推進事業

## 3 特別支援教育

高松市の特別支援教育は、昭和 28 年花園小学校に知的障害学級が設置されてから 60 年を超え、その間、香川県はもとより四国四県の特別支援教育の先駆的役割を果たしてきた。

### (1) 沿革

昭和 30 年	身体虚弱対象の養護学級を、設置後に健康学級と改称
31 年	肢体不自由児機能訓練学級設置
43 年	難聴学級設置
44 年	言語障害学級設置
48 年	情緒障害学級設置
平成 元年	肢体不自由機能訓練学級を中学校に設置（平成 3 年度廃止）
5 年	肢体不自由機能訓練学級を中学校に設置
8 年	院内学級を、県立中央病院、高松赤十字病院に開設
10 年	施設内学級を若竹学園に開設
15 年	特別支援教育推進体制モデル事業の推進地域に指定される
19 年	松島小学校（現高松第一小学校）に通級指導教室を設置
同	特別支援教育支援員の配置を開始（9 月から）
21 年	特別支援教育サポーターの配置を開始（9 月から）
22 年	屋島西小学校に通級指導教室を設置
24 年	就学指導委員会条例制定
25 年	一宮小学校に通級指導教室を設置
29 年	総合教育センターに支援係設置
	高松第一中学校、川島小学校に通級指導教室を設置
30 年	サテライト教室設置
令和 元年	アシスト教室設置
2 年	龍雲中学校に通級指導教室を設置
4 年	香西小学校に通級指導教室を設置
6 年	多肥小学校に通級指導教室を設置

知的障害学級は、現在、小学校に 70 学級、中学校に 21 学級、また、自閉症・情緒障

害学級は小学校に 113 学級、中学校に 40 学級、肢体不自由学級、難聴学級、弱視学級、病弱・身体虚弱学級を小学校に 58 学級、中学校に 23 学級設置して、障害の多様化に対応して就学の適正化と指導の充実を図ってきた。

重度の障害のある児童生徒で就学の困難な者についての訪問指導は、養護学校の義務化に伴い、54 年度から香川県立高松養護学校に学籍を置いて指導を受けている。

また、様々な障害のある児童生徒に対する学校生活上の介助や学習活動上の支援などを行う特別支援教育支援員を平成 19 年度の 9 月から、特別支援教育サポーターを平成 21 年度の 9 月から緊急性・必要性の高い小・中学校に配置している。(令和 4 年度より、特別支援教育支援員と特別支援教育サポーターは学校生活支援員に名称を変更している。)

なお、障害のある児童生徒の適正な就学をすすめるために、幼稚園・こども園・保育所等の協力を得て、教育相談を毎年 1 学期から計画的に実施している。

## (2) 特別支援学級の児童生徒数

(6.5.1 現在)

小学校	学校数	学級数	児童・生徒数	中学校	学校数	学級数	児童・生徒数
知的障害	46	70	367	知的障害	19	21	98
肢体不自由	20	20	21	肢体不自由	8	8	10
病弱・身体虚弱	24	24	38	病弱・身体虚弱	9	9	16
弱視	4	4	4	弱視	1	1	1
難聴	10	10	12	難聴	5	5	5
自閉症・情緒障害	48	113	691	自閉症・情緒障害	22	40	238
計	(実)47	238	1,043	計	(実)22	80	325

※(実)は実学校数

## (3) 就学等教育相談会と教育支援委員会

障害のある児童生徒の適正な就学をすすめるために、5 歳児に対して就学等教育相談会を年間 8 回実施し、就学に関する相談と児童の実態把握を行っている。保護者が希望した場合、先の相談会で得た情報等をもとに、教育支援委員会において就学判定を行い、判定結果を保護者や学校に通知し就学先を決定している。教育相談には教育支援委員会幹事である特別支援学級担任があたっている。

在学中の児童生徒の就学指導については、校内就学指導委員会で審議のうえ、学校からの報告書に基づいて市の教育支援委員会において就学判定を行っている。

就学指導委員会は、学識経験者、医師、児童福祉施設等の職員、特別支援教育関係職員の 12 名の委員と小中学校職員の 42 名の幹事で構成されている。

## 令和 6 年度入学児の就学指導の状況

特別支援学校	人数	特別支援学級	人数
視覚支援学校	0	知的障害	51
聴覚支援学校	1	肢体不自由	2
支援学校(知的障害)	38	病弱・身体虚弱	3
支援学校(肢体不自由)	3	弱視	0
支援学校(病弱)	1	難聴	0
		自閉症・情緒障害	139

## 4 生徒指導

### (1) 生徒指導の意義

都市化や少子化、情報化などの進展や価値観の多様化に伴い、児童生徒の問題行動等の現象は、量的な増加だけでなく、質的な変化も起こり、より複雑で多様化している。

暴力行為、いじめ、不登校などの児童生徒の問題行動等については、学校・家庭・地域及び関係機関との密接な連携を通じた適切な指導が求められる。

特に、暴力行為やいじめにおいては、児童生徒の多様な行動の原因を、その現象面からだけとらえたり、その対応のみに終始したりするのではなく、児童生徒の心情面も理解し、予防・開発的な生徒指導が強く望まれる。不登校においては、早期発見と早期対応に努めるとともに、その要因に応じて、関係機関と連携・相談のもと役割分担を明確にし、組織的に対応していくことが重要である。

つまり、生徒指導とは、すべての児童生徒の人格の形成をめざし、学校生活が児童生徒一人一人にとって有意義で興味深く、充実したものにするために組織的・体系的に行っていくものである。

よって、児童生徒の理解に立った心の触れあう生徒指導を基盤に、関係機関及び校種間の密接な連携を図りながら、児童生徒の健全育成に努力していかなければならない。

### (2) 課題

近年、問題行動等は、複雑多様化し、より深刻なものとなっている。学校・家庭・地域及び関係機関が連携し、これらの未然防止及び早期解消に取り組む必要がある。

- ・ 小・中学校が連携しての問題解決
- ・ 学校の教育活動全体を通しての児童生徒の自律心や規範意識の育成
- ・ 学校における教育相談体制の確立
- ・ 不登校児童生徒の学校生活への復帰や適応を促進する教育支援センターの充実
- ・ 関係機関との連携強化
- ・ 児童生徒の自己実現に向けての支援や指導
- ・ 児童生徒の自律的な生活態度の育成
- ・ 心豊かでたくましく生きる児童生徒の育成
- ・ 児童生徒の基本的な生活習慣の形成を図るための学校と家庭の密接な連携
- ・ 開発的・予防的な生徒指導の推進
- ・ 機能的な校内の指導体制の構築、学校生活への適応や自己実現に向けて、不登校児童生徒に対する支援や指導のあり方

### (3) 推進

#### ア 暴力行為、いじめなどの問題行動等の対策事業

##### (ア) 児童生徒指導推進事業

社会福祉士等の資格又は、福祉と教育の両面に専門的な知識・技術を有する者を、スクールソーシャルワーカーとして中学校に配置して、計画的に小学校及び高松第一高等学校にも派遣することで、児童生徒が置かれた様々な環境に働きかけたり、関係機関等のネットワークを活用したりして、問題解決を図る。

##### (イ) 「高松市児童生徒問題行動等対応マニュアル」の活用

問題行動等の対応における教職員の指導力向上のための研修資料として活用するとともに、各学校独自のマニュアルづくりの参考とし、問題行動等の未然防止と解消に取り組む。

##### (ウ) いじめ等対策事業（スクールカウンセラー配置）

「心の専門家」であるスクールカウンセラーを学校に配置し、暴力行為、いじめなどの問題行動等の未然防止や早期発見・早期解決を図る。

##### (エ) いじめ・不登校相談専門員配置事業

いじめ・不登校相談専門員を2名配置し、電話相談・来庁相談に応じ、指導主事と連携を取り、いじめや不登校の早期発見・早期対応などの防止対策の強化に努める。

##### (オ) 学校訪問時の指導主事による生徒指導に関わる指導・援助

##### (カ) 暴力行為、いじめ、不登校の防止に関わる教員研修の開催

##### (キ) 「強めよう絆」月間

児童会や生徒会を中心に、友だち・家族・地域等との「絆を強める」活動を行い、児童生徒のよりよい人間関係づくりを促進するとともに、家庭や地域にも取組を発信し、学校への信頼を高める。

##### (ク) 強めよう絆推進事業

指導主事や学校相談員（退職教員）を派遣し、暴力行為、いじめ等の生徒指導上の諸問題の解決や未然防止を図る。

#### イ 不登校対策事業

##### (ア) 教育相談体制の充実

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを積極的に活用するとともに、教育支援センターでの教育相談など、相談体制の充実を図る。

##### (イ) 社会的自立に向けた支援の充実

- ・ 教育支援センターを始め、ICTを活用した学習支援システム、ビデオ会議システムやAI型ドリル等のICTを活用した支援など、多様な学びの場を提供する。
- ・ フレンドシップ事業など、体験的な交流活動の機会を設け、社会性の育成に努める。

##### (ウ) 不登校・子ども理解に係る教員研修の推進

「高松市不登校Q&A 一児童生徒の社会的自立に向けて一」を活用し、学校や教員が不登校支援に適切に取り組めるよう研修を実施する。

#### (エ) 不登校に関する援助推進委員会の設置

不登校への理解を深め、その解決をめざし、学校・家庭・地域・関係機関との連携を図りながら、各種の施策について審議する。

### ウ 児童生徒指導推進事業

#### (ア) 児童生徒問題行動対策連絡会

学校、児童相談所、法務局、警察その他の関係機関等に所属する職員及び学識経験者により組織し、本市における、児童生徒のいじめ問題、暴力行為等問題行動の対策を総合的かつ効果的に推進する。

#### (イ) 「高松市学校・警察相互連絡制度」に関する協定の締結

児童生徒を健全に育成するため、非行や被害の未然防止、効果的な立ち直り支援等を実施していくことを目的とした協定を高松市教育委員会、高松北警察署・高松南警察署・高松東警察署・高松西警察署が締結し、児童生徒の非行等の問題について連絡を行い、当該児童生徒の問題の所在を相互に理解し合うなど、自らの役割を果たしつつ緊密な連携を図っていく。

### エ 生徒指導研修事業

生徒指導における教員の指導力向上を目的にした研修会を実施する。

- ・ 「生徒指導上の基礎・基本」講話・演習  
(初任者研修指定)
- ・ 「問題行動等に関する課題解決研修会」  
(中堅教諭等資質向上研修指定、保・こ・幼・小・中・一高教員希望者)

### オ 香小研・香中研の生徒指導部会との連携

生徒指導部会と連携をとり、研究・調査の指導・助言にあたる。

### カ 高松市少年育成センター運営協議会の開催

市内の青少年の健全育成を図るため、学校・P T A・関係団体などの代表者の出席のもとで、意見発表や意見交換を行う。

### キ 地域の健全育成団体との連携

各小学校区(地区)の健全育成連絡協議会等と定期的に情報交換を行い、連絡を密にしながら、各地区・校区における健全育成活動の推進を図る。

### ク 家庭への啓発

家庭における望ましい人間関係をはぐくみ、自律心をもった児童生徒を育てるために、P T A活動、保護者との懇談会等を通じて啓発していく。また、問題行動等の対応における学校や家庭、地域、関係機関の役割について情報提供を行う。

## 5 教職員の研修

主催	目的	内容	対象	期間
各学校・幼稚園・こども園	各学校・幼稚園・こども園等における日常の教育活動に立脚した実践的な研修を指導する。	(現職教育) 全教職員で学校の課題の研究実践を行う。	全教職員	通年
		(若年経験教員研修) 初任者研修との連携を図りながら、若年経験教員の指導力の向上を図る。	各校園所 新採・若年 経験教職員	通年
		(人権・同和教育研修) 偏見や不合理な差別を解消しようとする意欲や実践力を持った子どもを育成するための研修を行う。	全教職員	通年
教育委員会	(学校・幼稚園訪問) 高松市教育委員会の指導方針に則り、学校等の実情を把握するとともに、学校課題の解決に向けた取組みを支援する。	学校等における教育活動等、全般にわたる指導・助言を行う。	全教職員	5～11月
	(研修会・研修講座)教職員の資質や指導力の向上を図る。	管理職研修、教育方法研修、初任者研修等基本研修、生徒指導関係研修、体育・保健関係研修、幼稚園・こども園・保育所関係研修、給食関係研修等	各該当者、 受講希望者	通年
	(自主研修会)「放課後ちよいスクール、ちよいカフェ@高松」等教職員を対象とした自主研修会を開催する。	学習指導、生徒指導、学級経営等	小中学校教職員希望者	通年
教育研修団	幼稚園・こども園、小・中学校の教職員の学校教育に関する自主的・自発的な研究・実践を共催・後援する。	香幼研、香小研、香中研の各高松支部が行う研修会	各部会員	通年

## 6 高等学校教育

### (1) 学校名及び所在地

高松第一高等学校  
高松市桜町二丁目5番10号

### (2) 沿革

昭和3年創立の高松市立第一中学校と昭和15年創立の高松市立高等女学校(前身は高松市立実科高等女学校、昭和23年高松第二高等学校)が、昭和24年に統合されて高松第一高等学校となり、県下唯一の市立高校として今日に至っている。

普通科と音楽科の2学科が設置されており、令和6年度は学級数22、生徒数785人。卒業生は、旧制も含めて44,319人にのぼり、社会の各界各層で活躍している。

### (3) 教育目標と特色

国際社会や国家、地域で活躍し、人類の福祉や文化の向上に貢献できる創造的な知性や豊かな人間性、社会性を身につけるとともに、生涯にわたって自己実現を図ることができる、心身ともにたくましく、自主と自律に拠る自由の精神を備えた人間の育成をめざすことを教育目標として掲げている。

また、高松第一高等学校では、学習指導、進路指導、生活指導、特別活動及び部活

動、校外行事の面に次のような特色がある。

## ア 学習指導

普通科では、1年で各教科を全員共通で学習し、2年・3年と進むにつれて、進路目的に合わせて設定した文科系・理科系・芸術の諸コースの中から選択して学習する。

また、特色あるコースとして、国際文科コースと特別理科コースを設けている。国際文科コースは、姉妹都市から派遣される米国人講師の指導のほか、1年時の春にホームステイの体験を中心とする海外研修を行うなど、語学力と国際感覚を広く身につけさせ、質的に高い文科系の大学進学に実績をあげている。

特別理科コースは、理工系・医学系大学への進学をめざす生徒に対し、個々の適性能力に応じたきめ細かい指導はもとより、高度な実験実習や出張講義等を通じて関心を深めるとともに、資質の向上に努め、期する効果をあげている。さらに、平成22年度と同コース入学者から、スーパーサイエンスハイスクールの指定に伴い、学校設定科目を通じた研修、各種講演会、国内外の研修旅行を実施している。

音楽科では、将来、優れた音楽家及び音楽教育者として活躍できるように、音楽関係の大学への進学を目標に、個人レッスンを中心とする専門技能と一般教養の調和のとれた学習指導を展開し、きわめて優れた実績をあげている。

## イ 進路指導

ほとんどの生徒が国公立大学進学希望であるため、平常授業はもとより課外授業や個別指導による学力の向上を図り、講演会や先輩との懇談会等を通じ意識の確立にも努めている。また、近年の複雑化した入試制度に対応できるように、実力の客観的診断や進路情報の収集と伝達にも留意している。

## ウ 生活指導

基本的な生活習慣の確立と、けじめある集団生活を送らせるために、学校・家庭・地域との緊密な連携を図り、家庭学習の習慣づけ、校内外の生活・身体・交通の安全等、広く日常指導を展開している。また、不登校やいじめ等の問題を抱える生徒の予防と早期発見及びその対応についても、HR担任や教育相談担当を中心に面接や家庭訪問等を通じてきめ細かく実施している。

## エ 特別活動及び部活動

HR活動、生徒会活動や体育祭・文化祭等の諸行事を通じて、生徒の自主的活動や態度の育成に努めている。

伝統ある合唱部・吹奏楽部・野球部・剣道部など文化部と運動部で合計34部と2つの同好会が、より高い水準をめざして活発に活動を続けている。特に音楽関係の実績は目覚ましいものがあり、毎年全国大会に出場して活躍している。

## オ 校外行事

本校の特色ある学校行事として、画一的な修学旅行に代わる校外研修の実施があげられる。

研修先は、学科及びコース毎に異なっており、いずれの場合も事前にその意義を確認させ、指導と学習を積み重ねている。

## 7 奨学制度

### (1) 高松市奨学金

成績優秀で向学心おう盛な生徒であって、家庭の経済的理由のため高等学校等への修学が困難な者に対して、奨学金を支給することにより、修学の機会を与え、有為な人材を育成することを目的とする。

選考は、中学校・高等学校などの校長が推薦した者から学業、人物、健康、家計などを総合的に判断し、教育委員会が高松市奨学生等選考委員会に諮り選定する。

(5年度実績)

奨学金支給対象	1人当たり 支給月額(円)	支給人員 (人)	支給総額(円)
高等学校、養護学校高等部、 高等専門学校生徒	9,000	245	23,337,000

### (2) 高等学校等入学準備金貸付

高等学校等に入学を希望する者の保護者で入学準備金の調達が困難な者に対して、入学準備金を貸し付けることにより、教育の機会を均等に与える。

貸付けについては、高松市奨学生等選考委員会に諮り、教育委員会が決定する。

(5年度実績)

学校種別	貸付人数(人)	1人当たり貸付額(円)	貸付総額(円)
国・公立	3	100,000	300,000
私立	5	250,000	1,250,000
計	8	—	1,550,000

【貸付額】 (国・公立) 10万円以内(無利息)  
(私立) 25万円以内(無利息)

【返還方法】 6か月据え置き後、国・公立学校の場合は25か月以内の割賦弁済  
6か月据え置き後、私立学校の場合は50か月以内の割賦弁済

### (3) 大学等教育資金融資制度利用者利子補給

大学等へ進学した者の保護者が入学資金として借りた教育ローンの利子補給を行い、経済的負担を軽減することを目的とする。

利子補給額は、借入金に係る約定利子(子の年間支払額)のうち年利1%相当額。(限度額2万円)

### (4) 要保護及び準要保護児童生徒就学援助

児童生徒の小学校及び中学校への就学に際し、経済的な支援を必要とする保護者に対して、就学に必要な経費の援助を行う。

(5年度実績)

区 分 費 目	小学校			中学校		
	支給人数 (総数2,556 人) (人)	支給額 (円)	1人当たり (年平均) (円)	支給人数 (総数1,670人) (人)	支給額 (円)	1人当たり (年平均) (円)
学用品費	2,556	28,937,955	11,321	1,670	37,029,260	22,173
通学用品費	2,172	4,790,380	2,205	1,153	2,552,950	2,214
新入学児童生徒学用品費等	52	2,811,120	54,060	96	5,760,000	60,000
新入学児童生徒学用品費 等(前倒し支給分)	271	14,704,320	54,259	464	29,673,000	63,000
修学旅行費	490	14,867,502	30,342	613	36,891,518	60,182
校外活動費	2,005	3,428,398	1,709	1,073	2,298,058	2,142
通学費	7	256,236	36,605	30	2,268,810	75,627
学校給食費	2,350	55,559,203	23,642	1,473	35,785,471	24,294
医療費	1	3,690	3,690	0	0	0
集団宿泊学習費	400	1,474,713	3,686	562	2,920,898	5,197
P T A会費	1,715	4,463,605	2,602	1,089	3,127,990	2,872
生徒会費	-	-	-	1,209	2,780,070	2,299
クラブ活動費	-	-	-	1,003	6,431,070	6,412
計	-	131,297,122	-	-	167,519,095	-

### (5) 特別支援教育就学奨励

小学校及び中学校の特別支援学級等に就学している児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、その就学を奨励するため、保護者に就学奨励費を支給している。

(5年度実績)

区 分 費 目	小学校			中学校		
	支給人数 (総数670人) (人)	支給額 (円)	1人当たり (年平均) (円)	支給人数 (総数161人) (人)	支給額 (円)	1人当たり (年平均) (円)
学用品等購入費	670	3,772,797	5,631	161	1,702,096	10,572
新入学児童生徒学用品費等	147	3,457,449	23,520	47	1,278,481	27,202
修学旅行費	95	1,512,698	15,923	53	1,671,532	31,538
校外活動費	598	460,592	770	112	113,094	1,010
通学費	14	139,254	9,947	6	32,075	5,346
学校給食費	660	7,308,893	11,074	151	1,740,307	11,525
計	-	16,651,683	-	-	6,537,585	-

## 8 学校（園）備品等の充実

### （1）学校図書館用図書充実事業

幼児、児童生徒の健全な教養を培い、教育課程の展開に寄与するため、重要な教育的機能を持った学校図書館の充実をめざし、その整備拡充を行う。

### （2）教育用コンピュータ整備事業

小学校 2352 台、中学校 1424 台の教育用コンピュータを配備しており、令和 5 年度に小学校 521 台、中学校 308 台を更新した。

### （3）教員（校務）用コンピュータ整備事業

小学校 1531 台、中学校 904 台の校務用コンピュータを整備しており、令和 5 年度に小学校 46 台、中学校 34 台を更新した。

### （4）ICT 整備・活用推進事業

国の G I G A スクール構想により、令和 2 年度に児童生徒の 1 人 1 台端末を小学校 22, 899 台、中学校 10, 969 台整備し、令和 3 年度から本格的な運用を開始した。

### （5）児童生徒副読本支給事業

学校教育における補助教材としての副読本を支給し、保護者負担の軽減と教育効果の向上に努める。

## 9 学校体育の概要

児童生徒の体力・運動能力の向上と同時に、相互の友情を深め、体育の充実発展と心身ともに健全な児童生徒の育成を図るために各種競技会、記録会等を開催している。また、部活動指導員・運動部活動講師の派遣事業を行っている。

### （1）令和 5 年度主要事業実施状況

事業名	開催場所	参加数（人）
第 15 回高松地区中学校総合体育大会	高松市総合体育館 他	3, 926
第 60 回高松市小学校陸上記録会	屋島レクザムフィールド	613
第 15 回高松地区中学校新人体育大会	高松市総合体育館 他	3, 417
第 15 回高松地区中学校駅伝競走大会	香川県総合運動公園	226

### （2）部活動指導員・運動部活動講師派遣事業

運動部活動のうち、技術習得過程において段階的指導が必要とされる武道等の競技において、令和 5 年度は要請のあった中学校に対し 4 名の講師の派遣を行うとともに、部活動指導員として 7 名の派遣を行った。

## 10 学校保健の概要

### (1) 令和5年度主要事業実施状況

園児・児童生徒に心臓・腎臓検診を含む健康診断を実施するとともに、教職員に結核検診を含む健康診断を実施し、疾病の早期発見と事後措置に努めている。

また、市立小学校の4年生の希望者及び市立中学校1年生の抽出者のうち希望者を対象として、小児生活習慣病予防検診を実施し、概要と結果をホームページで公表し啓発に努めている。

さらに、飲料水の水質検査及び空気検査等を実施し、学校環境衛生の維持管理に努めている。

事業名	人数等	事業名	人数等
園児・児童生徒定期健康診断	1回 35,037人	小児生活習慣病予防検診	3,178人
就学時健康診断	3,405人	学校飲料水水質検査	80校園
腎臓検診(検尿)(再検査含む)	33,859人	学校等プール水質検査	82校園
心臓検診(心電・心音図, 血圧測定) (小1・4、中1・2、高1年生)	14,224人	簡易専用 水道管理状況調査	1回 57校
よい歯の児童生徒審査会	120人	日本スポーツ振興センター 災害共済給付	4,122件
ストレスチェック	2,087人	高松市健康教育研究大会	90人
日本スポーツ振興センター加入	34,069人		

### (2) 令和5年度学校医、学校歯科医、学校薬剤師配置状況

(単位 人)

区分	学校医			学校 歯科医	学校 薬剤師	計
	内科	眼科	耳鼻科			
幼稚園	19	19	19	19	19	95
小学校	60	49	49	64	49	271
中学校	28	24	24	33	24	133
高等学校	2	1	1	2	1	7
計	109	93	93	118	93	506

※配置基準は各校1人。ただし、内科医、歯科医については、教育委員会が特別な理由があると認めた場合は2人を配置している。

### (3) 独立行政法人日本スポーツ振興センター

学校管理下において発生した園児・児童生徒の負傷、疾病に対して、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度により、医療費等を給付している。この共済制度には本市の園児・児童生徒のほぼ全員が加入している。

ア 負担区分(市負担額は免責の特約に係る掛金を含む。) (単位 円)

校種	区分	共済掛金	負担区分	
			市	保護者
小・中学校		935	475	460
高等学校		2,165	305	1,860
幼稚園		285	75	210

## イ 給付状況

(5年度実績)

区 分	加入者数	災害医療費		障害見舞金		死亡見舞金		供花料		合 計		事故件数
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
小学校	21,653	1,819	10,106,659	0	0	0	0	0	0	1,819	10,106,659	1,201
中学校	10,659	2,074	14,022,233	0	0	0	0	0	0	2,074	14,022,233	1,015
高 校	786	211	2,673,973	0	0	0	0	0	0	211	2,673,973	86
幼稚園	478	18	73,290	0	0	0	0	0	0	18	73,290	14
計	33,576	4,122	26,876,155	0	0	0	0	0	0	4,122	26,876,155	2,316

### 1 1 学校給食の概要

戦後開始された学校給食は、教育活動の一環として、児童生徒の心身の健全な発達に資するものとして定着しており、給食内容の充実を図るとともに、効率的な運用に努めている。

(公財)高松市学校給食会による適正な給食物資の購入、統一献立等、効果的な運用に努めており、さらに、近年の食生活の変化や食育の重要性の高まりに対応するため、小児生活習慣病予防や地産地消の推進など、一層の充実を図っている。

#### (1) 学校給食の実施状況

(6.5.1現在)

区 分		完全給食		合 計
		単独方式	共同調理場方式	
小学校	学校数	16	31	47
	児童数	7,881	13,340	21,221
中学校	学校数	1	21	22
	生徒数	650	9,933	10,583

(休校は除く)

#### (2) 学校給食(完全給食)の状況

(6年度)

区 分	一食当たり給食費(円)					年間平均 実施回数 (予定)
	主 食	牛 乳	副 食	事務費	計	
小学校低学年	43	63	160	1	267	188
小学校中学年	47	63	193	1	304	188
小学校高学年	52	63	216	1	332	188
中学校	56	63	241	1	361	168

### (3) 米飯給食

学校給食の多様化を図るとともに、児童生徒が伝統的な日本の食文化を身につけるため、昭和 51 年 4 月から米飯給食を委託炊飯で開始し、53 年 9 月から月 4 回の米飯給食のうち、1 回の自校炊飯を開始した。

その後、逐次実施回数の増加に努め、平成 16 年 9 月から週 3 回の米飯給食を実施している。

### (4) 栄養摂取基準量

本市では、国の学校給食実施基準に基づき給食を実施していたが、本市の児童生徒の成長に応じた給食の提供のため、市独自の基準策定について検討し、令和元年度に「高松市学校給食摂取基準」を策定し、令和 2 年 4 月分の給食から新基準に基づき給食を実施している。

小児生活習慣病予防を推進するため、脂肪エネルギー比率を基準値以内に抑え、味つけは薄味とし、食物繊維の摂取量の増加を図っている。

#### ア 平均栄養量（令和 4 年度栄養週報による。小学校は 4 年生、中学校は 2 年生。）

##### 【小学校】

区分	エネルギー (kcal)	たんばく質 (%)	脂肪 (%)	カルシウム (mg)	ビタミン				鉄 (g)	食塩 相当量 (g)	食物 繊維 (g)	
					A ( $\mu$ gRE)	B 1 (mg)	B 2 (mg)	C (mg)				
前期	学校給食 摂取基準	620	13～ 20	20～ 30	350	200	0.40	0.40	25	3.0	2.0 未満	4.5 以上
	平均摂取量	589	16.9	30.0	374	225	0.76	0.57	36	3.2	2.1	6.5
後期	学校給食 摂取基準	650	13～ 20	20～ 30	350	200	0.40	0.40	25	3.0	2.0 未満	4.5 以上
	平均摂取量	611	17.6	28.7	390	250	0.89	0.61	36	3.6	2.2	6.7

##### 【中学校】

区分	エネルギー (kcal)	たんばく質 (%)	脂肪 (%)	カルシウム (mg)	ビタミン				鉄 (g)	食塩 相当量 (g)	食物 繊維 (g)	
					A ( $\mu$ gRE)	B 1 (mg)	B 2 (mg)	C (mg)				
前期	学校給食 摂取基準	800	13～ 20	20～ 30	450	300	0.50	0.60	30	4.0	2.5 未満	6.5
	平均摂取量	736	16.3	29	375	282	0.97	0.68	54	3.8	2.8	8.2
後期	学校給食 摂取基準	800	13～ 20	20～ 30	450	300	0.50	0.60		4.5	2.5 未満	6.5
	平均摂取量	744	18.1	28	453	299	1.09	0.72	37	4.8	2.6	8.1

## イ 食品構成表

(単位 g)

区 分		肉・魚介 卵類	豆類	芋類	野菜類	果実類	油脂類	砂糖類	乳類
小学校	平均食品分類別摂取量	44	17	24	116	17	3	3	15
中学校	平均食品分類別摂取量	53	22	24	141	16	5	3	15

(令和4年度栄養週報による。小学校は4年生、中学校は2年生。)

### (5) 衛生管理

学校給食は、発育途上の児童生徒を対象として大量調理を行うことから、衛生管理には万全を期する必要がある。

このため、関係指導機関（保健所、学校薬剤師等）と連携をとり、衛生管理の徹底を図っている。

- ・ 衛生管理状況調査 年1回
- ・ 学校給食施設等定期検査 年3回
- ・ 栄養士による巡回指導 随 時
- ・ 調理員等給食従事職員の検便検査 月2回
- ・ 調理員研修 年3回

# IV 生涯學習

市民一人一人が、生涯の各時期に直面する新しい課題に対処できるよう学習の機会を提供し、人間性・社会性の向上を図り、生きがいのある市民生活を確保するため、生涯学習を推進する。

## <令和6年度の生涯学習事業計画>

### 1 生涯学習推進体制の整備

#### (1) 生涯学習推進体制整備事業

「第3期高松市教育振興基本計画」及び「生涯学習の今後の推進方針」に基づき、生涯学習施策を総合的かつ体系的、効果的に推進する。

### 2 少年教育の推進

#### (1) 子ども会の育成

子ども会活動を充実発展させるため、高松市子ども会育成連絡協議会を支援するとともに、子ども会育成会指導者講習会や子ども会リーダー研修会などを行う。

#### (2) 子ども会フットベースボール大会

開催期日	場 所	内 容
R6. 9. 22	高松市西部運動センター	校区対抗フットベースボール大会

#### (3) 新春子どもフェスティバル

開催期日	場 所	内 容
R7. 2. 2	中央公園 四番丁スクエア 市役所	ドッジボール大会、すもう大会、カルタとり大会、遊び名人コーナーほか

### 3 青年教育の推進

#### (1) 知的障がい者青年教室（愛称 スキップクラブ）

知的障がいのある青年が、余暇時間の充実を図りながら、集団活動を通して、人とふれあう喜びづくりや社会人としての知識・技能の習得を図るとともに、知的障がい者を支援するボランティアが、知的障がい者の特性等について学び、理解を深めるための場として教室を開設する。（定員 45名）

#### (2) 二十歳のつどい(令和3年度までは成人式として実施)

開催期日	内 容	場 所
R7. 1. 12	式 典	サンポートホール高松大ホールほか

## 4 家庭・地域の教育の推進

### (1) 家庭教育応援講座等

項目	講座数等	事業内容等
家庭教育応援講座	204 講座	子育てにおける課題や子どもの成長、子どもの生活リズム等について、就学時健康診断等を活用した家庭教育応援講座の開設
家庭教育情報発信事業	家庭教育コラム 年5回	高松市ホームページ等に家庭教育に関するコラムの掲載及び動画の配信
	家庭教育についての動画配信 年1回	

### (2) 「早寝早起き朝ごはん」運動普及・啓発事業

子どもたちの基本的な生活習慣を育成し、生活リズムの向上を図ることにより、学習やスポーツ、読書など様々な活動にいきいきと取り組めるよう、就学時健康診断を活用した家庭教育応援講座の開催等、保護者が集まる機会をとらえて「早寝早起き朝ごはん」運動の普及・啓発を行うとともに、生活リズムチェックシートを小・中学生に配布し、子どもたち自らの生活習慣を見直すきっかけづくりを行う。

### (3) 子どもを中心にした地域交流事業

地域の子ども会やPTAなど、複数の団体等で構成された実行委員会等が実施する、子どもと保護者、地域の大人が交流する事業に対し、助成を行い、家庭と地域の教育力の向上を図る。

令和6年度対象・・・継続2団体

### (4) 地域学校協働活動

社会全体で子どもの学びや成長を支えるため、学校と地域それぞれの実情を理解し、双方をつなぐことができるコーディネーターを配置するなど、学校と地域が連携して行う活動の効果的・効率的な展開の促進に取り組み、家庭と地域の教育力の向上を図る。

令和6年度モデル校（小学校）対象・・・4校

## 5 社会教育団体への支援

高松市PTA連絡協議会、高松市立幼稚園・高松市こども園PTA連絡協議会等の社会教育団体に対し、運営補助等の支援を行う

## 6 学び直しの支援

義務教育を終了しないまま学齢期を超過した人などを対象に、生涯学習の一環として、夜間教室

を開室し、学び直しを支援する。

## 7 ふれあい創作館

市民に陶芸活動やその他の生涯学習などの諸活動、集会、レクリエーション等の場を提供し、市民福祉の増進に寄与するための拠点として、幅広い世代の市民が快適に利用できるよう、施設の維持管理に努める。

施設名	構造	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	設置年	所在地
ふれあい創作館	木造	338.5	1,043.32	S46	香川町川内原 2146-1

## 8 学校体育施設開放事業

市民の体力づくりや健康増進に寄与するため、学校体育施設を、身近で有益なスポーツ施設として学校教育活動に支障のない範囲で開放する。

令和5年度の開放状況は、小学校56校(小学校跡を含む)中55体育館、55運動場(夜間照明施設45校(46基)設置)、市立中学校23校中13体育館、12運動場(夜間照明施設12校設置)、1卓球室となっている。

### (1) 高松市立学校運動場の夜間照明施設設置状況 (6.4.1現在)

学校別	学校数	設置内容	
		設置数	設置率(%)
小学校	49(56)	38(45)	77.6(80.4)
中学校	23	12	52.2
計	72(79)	50(57)	69.4(72.2)

※( )内は、小学校の統廃合に伴う小学校跡を含む数値。

※高松第一小・中学校及び塩江小・中学校においては、小学校と中学校が併設され、運動場を共用で使用しているため、夜間照明施設設置状況については小・中学校それぞれを含んでいる。

### (2) 令和5年度中学校体育施設夜間開放利用状況 (単位 人)

種目 学校名	ソフトボール	サッカー	軟式野球	バレーボール	バスケットボール	ソフトバレー	バドミントン	体操	卓球	その他	計
	玉藻	-	-	204	154	2,690	156	612	-	-	955
桜町	-	-	-	1,519	2,061	1,290	190	-	-	28	5,088
紫雲	-	-	-	814	457	53	1,828	-	-	-	3,152
協和	-	-	-	1,880	875	38	165	-	-	-	2,958
龍雲	65	107	-	-	-	-	-	-	-	-	172

種目 学校名	ソフトボール	サッカー	軟式野球	バレーボール	バスケットボール	ソフトバレー	バドミントン	体操	卓球	その他	計
香 東	-	-	-	497	2,761	-	225	-	-	182	3,665
勝 賀	113	1,455	-	-	-	-	-	-	-	-	1,568
山 田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
牟 礼	-	-	-	197	2,640	-	-	-	-	42	2,879
庵 治	-	-	-	-	450	797	-	-	-	-	1,247
香川第一	-	-	-	957	4,494	-	197	-	-	-	5,648
国分寺	-	-	-	171	515	1,310	11	-	-	-	2,007
下笠居	-	-	-	-	689	58	-	-	-	-	747
太 田	-	-	-	2,113	2,209	58	307	-	-	-	4,687
木 太	-	-	-	1,188	2,399	42	872	-	-	-	4,501
計	178	1,562	204	9,490	22,240	3,802	4,407	-	-	1,207	43,090

# V 人 權 教 育

高松市人権教育・啓発に関する基本指針、高松市教育振興基本計画を踏まえ、人権尊重の精神に徹し、同和問題をはじめとする様々な人権課題の解決に積極的に取り組む意欲と実践力をもった人間を育成するため、人権教育を推進する。

## 1 学校人権教育の推進

### (1) 研究と研修の充実

#### ア 現職教育推進支援事業

各園・学校での授業や取組、教職員の幼児児童生徒、保護者等への関わりなどについて、指導主事等が訪問し、指導・助言を行う。

各種人権・同和教育研究会の報告原稿についての指導・助言を行う。

部落問題学習等の公開授業や、放課後ちよいスクールなどを行い、差別解消のための教育や取組が広がるようにしていく。

#### イ 人権教育教職員研修会の開催

こども園、幼稚園、小・中学校・高等学校の教職員の人権尊重意識の向上を図り、人権に関する正しい知的理解と豊かな人権感覚を身に付け、幼児児童生徒への関わりを振り返るとともに、意欲的に人権教育に取り組み、差別解消への実践力を養うために、研修会を行う。

#### ウ 「スマイルフェスティバル in たかまつ2024」の開催

広く市民の人権意識の高揚を図るため、幼児児童生徒・保護者・企業・地域コミュニティ等による人権に関する発表、人権劇、作文朗読、コンサート及び講演などを内容とする「スマイルフェスティバル in たかまつ2024」をサンポートホール高松にて開催する。

#### エ 「強めよう絆」月間の実施

いじめのない学校づくりを行うことを目的に、幼児児童生徒のよりよい人間関係づくりを促進するとともに、保護者や地域にも取組を発信し、学校への信頼を高めるために、高松市立の全小・中学校共通の取組として、「強めよう絆」月間を各学校の実情に応じて設定する。

#### オ 人権・同和教育研究会等への助成

教職員の人権意識の高揚と実践への意欲向上を目的として、学校（園）における人権・同和教育研究会組織の活動に対して補助する。

#### カ 全国人権・同和教育研究会等への参加助成

各地域や学校（園）の実践報告から、参加教職員の人権意識を高め、実践に生かすことを目的として、各種人権・同和教育研究会への参加に対して補助する。

### (2) 人権教育の深化・拡充のための指導資料等の作成

#### ア 人権問題学習資料の作成事業

人権教育・啓発の充実のために、市民のための人権問題学習資料「たかまつ人権ナビ」を作

成し、高松市内小・中学校保護者に配布するとともに、市民講座等の各種研修会で活用する。

#### イ 「いじめの未然防止に向けて」啓発資料の活用

いじめ問題の解決と未然防止のために、人権教育を柱とした取組を推進することを目的に、学校（園）で活用できる啓発リーフレットとして作成した「いじめの未然防

止に向けて（高松市教育委員会）」を各種教職員研修会で活用する。

#### ウ 「超入門 先生のための LGBT（リーフレット）」「先生のための LGBT（DVD）」 「生徒のための LGBT（DVD）」の活用

教職員一人ひとりが多様な性について正しく理解したうえで、幼児児童生徒の不安や悩みをしっかりと受け止め、きめ細やかに対応していくことができるように「超入門 先生のための LGBT」「先生のための LGBT」「生徒のための LGBT」DVD を、各種教職員研修会で活用する。

#### エ 人権学習パネル展の開催

園・学校での人権学習の成果を紹介することで、市民の人権意識の高揚と様々な人権問題の解決に向けて実践する意欲を高めることを目的として、人権学習パネル展を人権作品展や各種人権イベント等において開催する。

#### オ ホームページの充実

「強めよう絆」月間での特色ある取組や、人権啓発DVDの貸出し、書籍・資料等の紹介などを行う。

### (3) 地域における教育活動の充実

#### ア 子ども学級の開設

文化センターにおいて、子ども会の申請により小・中学校教職員を指導者として、基礎学力の定着を図るための子ども学級を実施する。

#### イ 教育相談事業の実施

文化センターにおいて、児童生徒及びその保護者を対象に進路・進学等の相談を実施する。

#### ウ 社会教育指導員の配置

幼児児童生徒の学習及び生活支援を行うために、各文化センターに、社会教育指導員（会計年度任用職員）を1名ずつ計6名配置する。

#### エ 学習支援ボランティア事業

大学生のボランティアによる学習支援により学力向上及び進学・学習意欲の高揚を図ることを目的として実施する。

## 2 社会人権教育の推進

### (1) 人権教育活動の積極的推進

#### ア 人権教育市民講座の開催

コミュニティセンター等での人権に関する講座を開催し、社会教育指導員（会計年度任用職員）の派遣、講師の選定・協力等を行う。

#### イ 人権教育研修事業の開催

子どもに対する人権教育をより効果あるものとするために、保護者啓発として、市立こども園、幼稚園・小学校・中学校・高松第一高等学校において単位PTA会員、保護者等を対象に人権に関する講演会等を開催する。

#### ウ 社会教育関係団体等における人権教育の促進

集団活動を通じて自主性、協調性を養い、人権尊重の精神を身に付け、心身ともに健全な子どもを育成することを目的として、子ども会に交付する。

#### エ 各種人権・同和教育研究大会等への参加助成

人権問題への理解を深め、問題の解決を図るため、社会教育団体等が全国人権・同和教育研究大会等の参加に必要な経費を補助する。

#### オ 社会教育指導員の配置

人権課題解決のための各種研修の充実を図るため、社会教育指導員（会計年度任用職員）を本課に1名配置する。

### （2）人権教育推進組織（人権尊重都市たかまつ市民会議）への協力

- ア 「人権だより」の発行
- イ 「人権・同和教育研修会」の開催
- ウ 「人権作品展」の開催
- エ 「スマイルフェスティバル in たかまつ」の開催

### （3）人権教育資料の作成

- ア 「広報高松」に人権についての内容を掲載
- イ 市民のための人権問題学習資料「たかまつ人権ナビ」の作成と活用

### （4）人権教育図書・視聴覚教材の購入・整備と活用

- ア 人権教育関係資料及び図書の購入・整備と活用
- イ 人権教育DVDの購入・整備と活用

### （5）地域における教育活動の充実

地域住民の文化的営みを促進するとともに、家庭及び地域社会における人間関係の円滑化を図ることを目的に、各文化センターで実施する。

#### ア 社会教育学級の実施

地域住民の教養を高め、技能の取得等も可能な各種講座を実施する。

#### イ ふれあい教室の実施

ボランティア活動、三世代交流、地域交流（行事）を主とした様々な体験・交流の機会を提供する教室等を実施する。

# VI 函 書 館

本市の図書館は、中央図書館(瓦町サテライトを含む)と地域館(夢みらい・牟礼・香川・国分寺図書館)の計5館のネットワークに加え、移動図書館車3台の巡回及び46図書館分室の運用により、全市域的な図書館サービスの提供に努めている。また、インターネットなどによる蔵書予約システムやレファレンスデータベースを有する図書館情報システムを稼動している。さらに地域の課題解決支援の一環として、「子育て支援コーナー」「ビジネス支援コーナー」を設置しているほか、図書館外施設での予約図書取次や返却サービスを実施し、利用者の利便性の向上を図っている。令和4年3月からは、電子図書館サービスを開始するなど、非来館型サービスの充実を図っている。

今後とも、より利用しやすく親しみやすい図書館となるよう、資料の充実を図るとともに、読書推進につながる諸行事やブックスタート事業の実施、各種広報活動を行うなど、市民の生涯学習の拠点としての役割を担うことができるよう図書館サービスの向上に努める。

## 1 施設等の概要

名 称	所 在 地	延床面積(m <sup>2</sup> )	開館時間	開館日
高松市中央図書館	昭和町一丁目2番20号 (サンクリスタル高松内)	8,718.00	平日 午前9時30分 ～午後7時  土・日・祝 午前9時30分 ～午後5時  (瓦町サテライト) 午前10時～午後9時	H4. 11. 3
(瓦町サテライト)	常磐町一丁目3番地1 (瓦町FLAG 8F)	216.97		H27. 10. 21
高松市夢みらい図書館	松島町一丁目15番1号 (たかまつミライエ 2F)	791.06		H28. 11. 23
高松市牟礼図書館	牟礼町牟礼130番地2	2,059.86		S56. 6. 2
高松市香川図書館	香川町川東上1865番地13 (高松市香川総合センター隣)	3,055.21		H19. 4. 28
高松市国分寺図書館	国分寺町新居1298番地 (高松市国分寺総合センター隣)	800.30		H1. 4. 4

## 2 運営機構

中央図書館	館長1名、主幹1名、館長補佐1名、管理係3名、資料係7名(含会計年度任用職員4名)、館内サービス係26名(含会計年度任用職員21名)、業務係2名、移動図書館係7名(含会計年度任用職員2名)
夢みらい図書館	館長1名、館員10名(含会計年度任用職員6名)【瓦町サテライト含む】
牟礼図書館	館長1名、館員5名(含会計年度任用職員3名)
香川図書館	館長1名、館員6名(含会計年度任用職員4名)
国分寺図書館	館長1名、館員4名(含会計年度任用職員3名)

### 3 事業概要

#### (1) 資料の整備

##### ア 図 書

(単位 冊)

配置等		区分	4年度末	購 入	寄 贈	除 籍	5年度末
中 央 図 書 館	一 般		439,701	8,448	306	△11,700	436,755
	児 童		95,334	1,390	26	△1,612	95,138
	郷 土 資 料		23,328	63	251		23,642
	郷 土 人 文 庫		4,976	6	679		5,661
	小 計		563,339	9,907	1,262	△13,312	561,196
夢みらい 図 書 館	一 般		60,184	2,078	36	△2,022	60,276
	児 童		25,745	853	18	△94	26,522
	郷 土 資 料		988	8	18	△3	1,011
	郷 土 人 文 庫		85		1	△11	75
	小 計		87,002	2,939	73	△2,130	87,884
牟 礼 図 書 館	一 般		39,091	1,455	62	△1,822	38,786
	児 童		14,257	547	20	△285	14,539
	郷 土 資 料		2,155	8	36	△87	2,112
	郷 土 人 文 庫		83		2		85
	小 計		55,586	2,010	120	△2,194	55,522
香 川 図 書 館	一 般		116,543	1,982	53	△1,642	116,936
	児 童		25,385	823	21	△361	25,868
	郷 土 資 料		2,095	7	116		2,218
	郷 土 人 文 庫		225		4	△3	226
	小 計		144,248	2,812	194	△2,006	145,248
国 分 寺 図 書 館	一 般		49,174	1,528	48	△2,963	47,787
	児 童		18,170	601	20	△917	17,874
	郷 土 資 料		3,160	5	41	△129	3,077
	郷 土 人 文 庫		86		29		115
	小 計		70,590	2,134	138	△4,009	68,853
移 動 図 書 館 分 室	一 般		61,220	2,272	50	△2,677	60,865
	児 童		44,605	779	951	△1,907	44,428
	郷 土 資 料		1,426			△2	1,424
	郷 土 人 文 庫		51			△2	49
	小 計		107,302	3,051	1,001	△4,588	106,766
総 計			1,028,067	22,853	2,788	△28,239	1,025,469

※瓦町サテライト令和5年度末：13,561冊（一般：13,521冊、児童：11冊、郷土資料：16冊、郷土人文庫13冊中央図書館に含む）

## イ 視聴覚資料

(単位 点)

配置等		区分	4年度末	購入	寄贈	除籍	5年度末	
中央図書館	C	D	24,680	356	8		25,044	
	ビデオテープ		7,411			△4	7,407	
	レーザーディスク		1,592				1,592	
	カセットテープ		2,480			△1	2,479	
	D	V	D	5,270	209	11	△21	5,469
	マイクロフィルム		1,368	2			1,370	
	CD-ROM等		71				71	
	小計		42,872	567	19	△26	43,432	
夢みらい図書館	C	D	663	2	11	△2	674	
	カセットテープ							
	D	V	D	335	41		376	
	CD-ROM等							
小計		998	43		△2	1,050		
牟礼図書館	C	D	2,760	70		△2	2,828	
	ビデオテープ							
	カセットテープ		17				17	
	D	V	D	48		△3	45	
	CD-ROM等		11				11	
小計		2,836	70		△5	2,901		
香川図書館	C	D	3,351	89	1	△32	3,409	
	ビデオテープ		2				2	
	カセットテープ		136				136	
	D	V	D	88	1		89	
	小計		3,577	89	2	△32	3,636	
国分寺図書館	C	D	4,991	73		△33	5,031	
	ビデオテープ		1				1	
	D	V	D	81	2		83	
	小計		5,073	73	2	△33	5,115	
総計			55,356	842	34	△98	56,134	

## ウ 絵本・紙芝居等

(単位 冊・点)

配置等		区分	4年度末	購入	寄贈	除籍等	5年度末
中央図書館	絵	本	50,622	958	30	△2,050	49,560
	紙	芝居	3,591	47		△116	3,522
	コミック		5,121			△10	5,111
	小計		59,334	1,005	30	△2,176	58,193
夢みらい図書館	絵	本	21,031	711	7	△34	21,715
	紙	芝居	1,298	44		△2	1,340
	コミック		2			△1	1
	小計		22,331	755	7	△37	23,056

配置等		区分	4年度末	購 入	寄 贈	除籍等	5年度末
牟 礼 図 書 館	絵 本		8,395	347	27		8,769
	紙 芝 居		568	25	1	△18	576
	コ ミ ッ ク		1,439		40	△28	1,451
	小 計		10,402	372	68	△46	10,796
香 川 図 書 館	絵 本		18,736	554		△869	18,421
	紙 芝 居		1,806	34	22	△262	1,600
	コ ミ ッ ク		2,814	4	45	△127	2,736
	小 計		23,356	592	67	△1,258	22,757
国 分 寺 図 書 館	絵 本		11,398	361	6	△461	11,304
	紙 芝 居		1,082	15	1	△53	1,045
	コ ミ ッ ク		2,189			△136	2,053
	小 計		14,669	376	7	△650	14,402
移 動 図 書 館 分 室	絵 本		30,485	363	950	△703	31,095
	紙 芝 居		2,528	57		△18	2,567
	コ ミ ッ ク		152				152
	小 計		33,165	420	950	△721	33,814
総 計			163,257	3,520	1,129	△4,888	163,018

※瓦町サテライト令和5年度末：絵本919冊（中央図書館に含む）

## 4 資料利用状況

### (1) 館外貸出

(単位 冊・点)

館 別	区 分	一般書	児童書	A V	計	備 考
中 央 図 書 館		491,743	274,554	70,322	836,619	開館日数295日（一日平均2,836）
瓦町サテライト		80,438	11,711	2,398	94,547	開館日数358日（一日平均311）
夢みらい図書館		172,268	244,550	11,155	427,973	開館日数304日（一日平均1,408）
牟礼図書館		128,222	94,921	8,540	231,683	開館日数296日（一日平均783）
香川図書館		170,879	128,455	11,998	311,332	開館日数296日（一日平均1,052）
国分寺図書館		143,448	125,091	8,740	277,319	開館日数296日（一日平均937）
移動図書館		43,140	48,199		91,339	85ステーション（直島町2ステーションを含む）
分 室		10,928	20,537		31,465	46分室
小 計		1,241,106	948,018	113,153	2,302,277	
電 子 図 書 館		7,324	2,048	145	9,517	開館日数366日（1日平均26）
計		1,248,430	950,066	113,298	2,311,794	

### (2) AV館内利用（中央図書館）

(単位 件)

ビデオテープ	C D	D V D	計
481	202	1,530	2,213

(3) 利用者登録（令和5年度末累計） 321,456人

(4) レファレンス (単位 件)

区分 館別	資料の所蔵調査	事実調査	読書相談	計
中央図書館	6,196	108	114	6,418
瓦町サテライト	170	10		180
夢みらい図書館	2,504	142	54	2,700
牟礼図書館	1,162		3	1,165
香川図書館	1,540	27	104	1,671
国分寺図書館	1,099	71	28	1,198
計	12,671	358	303	13,332

(5) 予約数 (単位 件)

区分 館別	一般		児童		計
	所蔵分	購入分	所蔵分	購入分	
中央図書館	92,444	850	16,207	35	109,536
瓦町サテライト	34,404	93	6,128		40,625
夢みらい図書館	43,939	51	21,040	11	65,041
牟礼図書館	26,605	54	4,763	1	31,423
香川図書館	27,005	115	9,046	9	36,175
国分寺図書館	29,970	62	9,399	3	39,434
移動図書館	3,942	68	549	5	4,564
電子図書館	1,250		114		1,364
計	259,559	1,293	67,246	64	328,162

(6) 視覚障がい者サービス

郵送貸出		対面朗読
件数 (件)	貸出点数 (点)	件数 (件)
234	459	7

(7) コピーサービス (単位 枚)

種別 館別	電子コピー (含むカラーコピー)	マイクロフィルムコピー
中央図書館	14,377	667
夢みらい図書館	549	
牟礼図書館	245	
香川図書館	904	
国分寺図書館	252	
計	16,327	667

**(8) 相互貸借件数**

(単位 件)

貸 出	借 受			
	国立国会図書館	県立図書館	その他	計
1,206	0	187	257	444

**(9) 貸出し冊数の推移**

(単位 冊・点)

館 別 \ 年 度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
中央図書館	1,040,053	920,338	985,961	889,501	836,619
瓦町サテライト	98,995	85,429	103,341	94,862	94,547
夢みらい図書館	462,154	417,780	339,833	426,148	427,973
牟礼図書館	284,695	262,391	272,463	246,405	231,683
香川図書館	390,619	343,946	361,814	327,697	311,332
国分寺図書館	343,252	297,993	309,729	289,779	277,319
移動図書館	121,689	97,719	107,039	99,657	91,339
分 室	31,653	27,143	24,932	31,661	31,465
小 計			2,505,112	2,405,710	2,302,277
電子図書館			1,111	10,688	9,517
計	2,773,110	2,452,739	2,506,223	2,416,398	2,311,794

(電子図書館の3年度の数字は、4.3.24～4.3.31分)

**5 広報紙の発行**

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| (1) 中央図書館一般向け広報紙 | 「高松市図書館報」             |
| (2) 中央図書館児童向け広報紙 | 「こどものほんのへや」           |
| (3) 夢みらい図書館広報紙   | 「ゆめみ通信」 「こども司書通信」     |
| (4) 牟礼図書館広報紙     | 「図書館だより」 「ほんのくに」      |
| (5) 香川図書館広報紙     | 「図書館だより」 「ぶくぶくぶっく」    |
| (6) 国分寺図書館広報紙    | 図書館だより「本だいすき（一般・児童用）」 |

**6 視聴覚ホール貸出状況**

67回

## 7 その他事業

### (1) 視察・施設見学

#### ア サンクリスタル学習

30校 児童2,352人 引率128人 合計2,480人

屋島小 屋島東小 牟礼北小 中央小 川島小 三溪小 木太北部小 香南小 川東小  
古高松小 木太南小 東植田小 川添小 川岡小 鶴尾小 高松第一小 大野小 多肥小  
下笠居小 円座小 国分寺北部小 香西小 檀紙小 弦打小 塩江小 林小 植田小  
鬼無小 国分寺南部小 付属高松小

#### イ こども未来館学習

5校（こども未来館学習を実施し、図書館学習を選択した小学校数）

児童297人 引率19人 合計316人

中央小 植田小 東植田小 土庄小 花園小

#### ウ 施設見学

- (ア) 中央図書館 高松工芸高校 新番丁小 牟礼北小 牟礼南小  
香川短期大学
- (イ) 牟礼図書館 牟礼小
- (ウ) 香川図書館 川東小
- (エ) 国分寺図書館 国分寺南部小 国分寺北部小

### (2) 体験学習受入

- ア 中央図書館 古高松中 屋島中 太田中 桜町中 高松第一中 勝賀中
- イ 夢みらい図書館 太田中 屋島中
- ウ 牟礼図書館 古高松中 庵治中
- エ 香川図書館 香南中 塩江中 香川第一中
- オ 国分寺図書館 国分寺中 香東中

### (3) ブック・スタート事業

保健センターと連携して、4か月児に絵本を贈呈し、子育て支援と子どもの読書活動を推進する。  
絵本パック渡し数 2,537冊（4か月児相談対象者の94.1%）

#### (4) 子ども読書まつり

項 目	開催時期	参加人数	内 容	場 所
第 1 8 回 子ども読書 ま つ り	R5. 11. 5	1,973人	絵本作家ワークショップ、おはなし会、点 字体験コーナー、ワークショップ（行灯づ くり、伝承手づくりおもちゃあそび）、中 学生ビブリオバトル、読書感想画及び調べ る学習コンクール作品展、読書とバリアフ リー（展示）、メッセージDEモザイクア ート、段ボールであそぼう！等	サングラス高松

#### (5) 中学生ビブリオバトル

項 目	開催時期	参加人数	内 容	場 所
中学生ビブ リオバトル	R5. 11. 5	8人	読書離れが進む傾向にある中学生の読書 活動を推進するための、中学生による知的 書評合戦「令和5年度中学生ビブリオバト ル 高松の陣」	サングラス高松

## VII 総合教育センター

高松市総合教育センターは、優れた個性と風格を持つ学習文化都市高松の基盤づくりに寄与するため、教育に関する専門的、技術的事項について調査研究や教職員研修等を行い、本市の教育の充実及び振興を図る。

## 1 概要

名称：高松市総合教育センター

所在地：高松市末広町5番地

設置年月日：平成23年4月1日

## 2 運営機構

所長1名、所長補佐2名、研修係長1名、支援係長1名、幼児教育係長1名、指導主事5名、調整官1名、研修指導員（会計年度任用職員）5名、幼児教育指導員1名（会計年度任用職員）、事務員（会計年度任用職員）3名、事務補助員（会計年度任用職員）1名、特別支援教育指導員（会計年度任用職員）1名、いじめ・不登校相談員（会計年度任用職員）2名

（ICT教育推進室）室長1名、室長補佐1名、主査1名、主任主事1名、指導主事1名、研修指導員（会計年度任用職員）2名、情報支援員（会計年度任用職員）1名

（教育支援センター）主任指導員（会計年度任用職員）2名、指導員（会計年度任用職員）6名

## 3 事業概要

### （1）調査研究事業

事業名	研究内容
ICT等に係る調査研究事業	令和5年度の実証研究の成果と課題や、6年3月に策定した「第2期高松市ICT教育推進計画」を踏まえ、GIGA端末を令和の文房具として日常的に使いたおす事を前提に、現環境において実現可能である「ICTを最大限活用した教育DXの実現」に向けた実証研究とし、ICTに振り切った実践により学校がDX化した姿を明確な成果として、市内小・中学校への横展開を図る。
保こ幼・小連携教育推進事業	幼児期に培う力が、小学校以降の生活や学習の基礎につながることを配慮し、高松市立保こ幼・小の教職員が連携を深め、発達や学びの連続性を踏まえた教育内容の充実を図る等、確かな学力と豊かな心と体を育む「保こ幼・小連携教育」のあり方を研究する。
保こ幼の架け橋プログラムに関する調査研究事業	国のモデル地域として、「子どもの学びをつなぐ、持続可能な保こ幼小連携・接続」を研究課題とし、開発校区での効果的な事例検討や、有効なツール等の開発を行い、全校区での取組を推進する。
不登校対策モデル校（中学校）事業	未然防止や初期対応、長期化する不登校生徒への対応などの観点からCOOLOプランや本市の不登校児童生徒対応マニュアル「不登校Q&A」等を参考に実践研究を行う。

事業名	研究内容
教育の今日的課題に対応するためのスクールリーダー養成研修事業	社会的変化や学校現場の様々な課題に対応するために、教員には、より高い専門性を身に付けることが求められている。令和6年度は、特別支援教育に係るスクールリーダーの養成に重点を置き、各学校において中核的な役割を担う人材の資質向上を図る。

※ 調査研究の成果をホームページ等によって広く紹介し、普及と発展を図る。

## (2) 教職員研修事業

ビデオ会議システムを活用し、オンラインによる多様な研修が実施できるように取り組む

### ア 研修講座・研修会の開催

教員のキャリアステージに応じて、専門性を高めるための体系的、効果的な研修の実施

### イ 教員研修受講履歴記録システム Plant の円滑な運用

### ウ 教師のキャリアプランニング支援システム「教員と校長の1 on 1 対話支援ツール」の活用の促進

### エ 教育に関する指導・相談

学校訪問時の指導のほか、学校の要請に応じた現職教育等における指導及び相談

### オ 放課後ちよいスクール (Choice, Cool!)

月に2回程度、放課後の30分の時間を利用し、現代的な課題に対応した内容を扱う同時双方向型のオンライン研修を開催

### カ ちよいカフェ@高松の開催

様々な教育課題に対応するため自主参加の研修会を開催

### キ 保こ幼教職員研修事業

- ・ 保育所・こども園・幼稚園の教職員のキャリアステージに応じた研修の実施
- ・ 要請訪問等の実施及び指導

## (3) 教育の情報化推進事業

### ア 高松市教育情報通信ネットワークシステム(TENS)等の運用と維持管理

- ・ センターサーバ及びTENSネットワーク整備によるクラウド環境の運用
- ・ 学校におけるICT環境の計画的な整備・更新
- ・ フィルタリング機能の充実と安定的なネットワーク運営
- ・ 市内各学校のホームページ更新の支援
- ・ 高松市立学校情報セキュリティ対策基準の遵守と教職員の意識啓発
- ・ 学校用パソコンの運用管理ソフトウェアによるTENSパソコンのセキュリティ保持
- ・ GIGAスクール構想で整備した一人一台端末の活用支援

### イ 教育用コンピュータ整備事業

- ・ 令和5年度に、小学校521台、中学校308台の教育用コンピュータを更新

### ウ 教員(校務)用コンピュータ整備事業

- ・ 令和5年度に、小学校46台、中学校34台を更新

## エ ICTの積極的な活用支援

- ・ ICTサポートスタッフ及びICT支援員派遣による現場支援
- ・ 校務支援システム・グループウェアの運用による教職員の負担軽減
- ・ 研修におけるTENS取扱責任者の基礎スキルの向上や授業でのICT活用事例の紹介
- ・ ICT活用研修会等の実施により、日常的なICT活用を促進
- ・ オンラインによる教員研修の実施

## オ 情報教育の推進支援事業

情報活用の実践力を育成するため、授業におけるICT機器の適切かつ積極的な活用を図る

- ・ 「第2期高松市ICT教育推進計画」の策定・進行管理

## カ 情報モラル等指導支援事業

- ・ 教員を対象とした「情報モラル教育研修会」の実施
- ・ 関係機関と連携した啓発・広報活動

## (4) 不登校対策事業

### ア 教育支援センター「新塩屋町 虹の部屋」「みなみ」の運営

- ・ 不登校児童生徒の心の居場所を提供し、学校や集団生活への適応や社会的自立に向けた支援
- ・ 「個別懇談会」や「親の会」等教育相談活動の実施
- ・ 在籍校との連絡会及び事例検討会の実施

教室名	住所	電話番号
新塩屋町 虹の部屋	高松市末広町5番地	087-851-2011
みなみ	高松市出作町348番地6	087-889-8900

### イ 不登校児童生徒や保護者の支援

- ・ ICTを活用した学習支援システムによる不登校児童生徒の支援
- ・ カウンセラーによる教育相談（来所相談、電話相談、訪問相談）

### ウ 各種研修会等の実施

- ・ 教育相談及び不登校に関する研修講座の実施
- ・ 教員、保護者、関係機関等の連携を図る「不登校を考える会」の開催
- ・ 不登校児童生徒対応マニュアル「高松市不登校Q&A」（教職員用）や「子どもが学校に行きたくないと言ったら」（保護者用）の発行

## (5) 特別支援教育推進事業

### ア 就学指導

- ・ 就学等教育相談会(年間12回)の開催
- ・ 特別支援教育相談(随時)の開催
- ・ 教育支援委員会(年間6回)の開催

### イ 特別支援教育の推進

- ・ 巡回相談、連携訪問、専門家チームの派遣
- ・ 各種研修会の開催
- ・ 高松地域連携協議会(年1回)の開催
- ・ 幼稚園・こども園・学校訪問の実施

### ウ 特別支援学級編制

- ・ 学級編制、教育課程への指導・助言

### エ 検査用具等の貸出し

- ・ 検査用具の貸出し、検査用紙の配布、ボッチャ用具の貸出し
- ・ 教科書(文部科学省著作本)展示・貸出し

### オ 通級指導に係るサテライト教室の設置

- ・ 高松第一中学校通級指導教室のサテライト教室を高松市総合教育センターに、高松市立龍雲中学校通級指導教室のサテライト教室を教育支援センター「みなみ」に設置

### カ アシスト教室の設置

- ・ 高松市総合教育センター及び教育支援センター「みなみ」内に、短期個別指導を行うアシスト教室を設置

### キ 医療的ケア児支援事業

- ・ 医療的ケア児が在籍する学校等に訪問看護師が巡回し、必要な医療的ケアを実施
- ・ 医療的ケアに関するガイドラインの改訂など、実施体制の整備

## (6) 広報事業

### ア 主な刊行物

- ・ 「総合教育センター要覧」、「教育支援センター要覧」、「総合教育センターだより」  
「教育支援センターだより」

### イ Webページの公開

- ・ 高松市総合教育センター <http://www.edu-tens.net/kyouikuken/>
- ・ 高松市教育情報通信ネットワークシステム(TENS) <http://www.edu-tens.net>
- ・ 高松市教育支援センター <http://www.edu-tens.net/ksc/>

(7) 委託事業

ア 高松教科書センターの管理と運営

- ・ 文部科学省検定済教科書の展示会の開催
- ・ 文部科学省検定済教科書の閲覧・貸出

## VIII 少年育成センター

少年非行の早期発見・早期指導を図るため、補導、相談、環境浄化、広報啓発等の活動を行うとともに、高松市青少年健全育成市民会議と連携し、地域で子どもを見守り育てる活動を推進する。また、学校、地域、警察等の関係機関・団体と連携・協力して子どもの安全対策に取り組む。

## 1 概要

名称：高松市少年育成センター

所在地：高松市番町一丁目8番15号（高松市役所本庁舎10階）

## 2 運営機構

所長1名、所長補佐1名、補導係9名（うち専門指導員5名、一般行政事務員2名）

## 3 令和6年度の主要施策

- (1) 補導活動による非行の未然防止
- (2) 相談活動による子ども支援
- (3) 環境浄化活動による有害図書等の駆逐
- (4) 不審者対策を通じた子どもの安全確保
  - ア 不審者情報の提供
  - イ 子ども安全パトロール
  - ウ スクールガード・リーダー派遣
  - エ 学生防犯ボランティア団体と地域の健全育成団体との連携による「ながら見守り」の推進
- (5) 万引き防止活動を通じた万引きに係る市民意識の高揚
- (6) 情報モラル教育推進事業による情報モラルの醸成
  - ア 出前授業の対象学年の拡大
  - イ 未就学児の保護者向け「安全・安心なネット利用」講座の開催
  - ウ 学生サイバー防犯ボランティア団体と「インターネットセキュリティ教室」の開催について連携
- (7) スマート・メディア事業の推進
  - ア 「家族でチャレンジ! 『スマート・メディア』」事業の実施による自己管理能力の育成と保護者啓発
  - イ 各地域や関係団体におけるスマート・メディアキャンペーンの実施による啓発

## 4 令和5年度活動状況

### (1) 補導状況（補導活動）

ア 補導回数 延べ 1,727 回（昨年度 1,606 回）

イ 補導従事者数 延べ 4,386 人（昨年度 4,112 人）

ウ 令和5年度補導人数（高松市少年育成委員・高松市少年育成センター）

#### (ア) 補導集計

(単位 件)

学職等 行為	(単位 件)								
	就学前	小学生	中学生	高校生	大学生等	有 職	無 職	不 明	合 計
道交法違反	0	8	14	26	0	0	0	0	48
窃盗	0	0	0	0	0	0	0	0	0
喫 煙	0	0	0	0	2	0	0	0	2
危険行為	0	40	0	15	0	0	2	6	63
暴走行為	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不健全娯楽	0	0	0	2	0	0	0	0	2
怠学怠業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
校則違反	0	0	13	1	0	0	0	0	14
たむろ	0	0	0	12	2	2	5	4	25
帰宅促し	0	44	48	159	2	0	0	0	253
迷惑行為	0	2	2	23	11	0	5	0	43
その他	1	7	8	10	0	0	0	2	28
合 計	1	101	85	248	17	2	12	12	478

### (2) 少年相談受理状況（相談活動）

#### ア 相談者別相談件数

(単位 件)

相談者	本人	両親	父	母	祖父母	その他	計
件数	7	0	2	11	0	1	21

#### イ 学職別相談件数

(単位 件)

相談対象者	児童・生徒等					少年 (有職・無職) 一般	不明	計
	就学前	小学生	中学生	高校生	大学生等			
件数	0	10	6	3	0	2	0	21

#### ウ 形態別相談件数

(単位 件)

相談者	こども スマイルテレホン	一般電話	来所	訪問	計
件数	18	3	0	0	21

※ 児童・生徒が悩み始めた時期の初期相談として、気軽に何でも相談ができるよう、平成5年11月1日から、子ども相談電話「こどもスマイルテレホン」を開設している。

### (3) 環境浄化活動

悪書追放運動の一環として、市内の13か所に配置した白ポストによる図書の回収を実施した。

また、平成28年3月に香川支所、牟礼支所に白ポストを増設した。(令和5年度回収点数2,848点)

## (4) 子どもの安全確保活動

### ア 不審者情報の提供

平成17年5月2日から、不審者情報メール配信を発足させ、地域・校区で子どもを見守り育てる活動にあたる関係団体や関係機関を対象に、配信先の拡大を図り、情報の共有化を推進している。

また、18年11月13日からは、高松市PTA連絡協議会のメール配信システムにも連結し、登録する保護者に提供している。さらに、19年1月12日からは、香川県警察子ども安全安心ネットワークに参画し、事務局（県警察本部生活安全部生活安全企画課）に情報を提供するとともに、各市町の情報を得ている。

なお、令和元年度からは、システムを一新し、PTA連絡協議会メール連絡網システムである、ミッタシステムから配信している。

### イ 子ども安全パトロール

青色回転灯を装着した広報車3台により、安全パトロールを計画的に実施し、子どもの安全確保に努めている。

令和5年度に青色防犯パトロールカーでの補導活動時に放送する啓発音声アナウンスを、高松第一高等学校放送部に再依頼し、更新してもらい、地域の見守り活動においても活用できるよう、データ編集して各地域の団体へ貸出できるようにした。

### ウ スクールガード・リーダー派遣

防犯の専門家である警察官OBをスクールガード・リーダーとして市内の小中学校等に派遣し、登下校時を中心とした巡視活動、通学路や校区における危険箇所の指摘やその改善に対する助言、不審者対応、避難訓練の指導・助言、地域の学校安全ボランティアの指導などを行い、地域社会全体で子どもを見守る活動を推進している。

令和5年度の派遣時間は延べ2,112時間（815回）である。

## (5) 万引き防止活動

### ア 保護者への啓発

万引き防止のより効果的な啓発に取り組むため、児童・保護者啓発用リーフレットを改訂し、市立小学校の児童・保護者に配布している。

### イ 地域での啓発

7月を「万引き防止強調月間」と定め、少年育成委員及び地域の健全育成団体等の協力を得ながら、地域の量販店、スーパーマーケット、コンビニ等の店頭で万引き防止啓発用の物品を配布し、市内一斉の万引き防止キャンペーンを実施している。

## (6) 情報モラル教育推進事業

### ア 小学3・4年生を対象とした出前授業

インターネット利用の低年齢化が進んでいるため、小学3・4年生を対象にインターネットの危険性の周知及びネットトラブルの未然防止を目的に、出前授業を希望校で実施している。令和5年度の実施校数は、36校（SETOKUを入れると39校）（内小学3年生18校（SETOKUを入れると22校））である。

なお、令和2年度から情報モラル出前授業の対象を小学3年生にも拡大している。

#### イ 保護者啓発パンフレットの作成・配布

保護者啓発パンフレットを作成し、市立小学4年生保護者に配布し、保護者啓発に取り組んでいる。

#### ウ 未就学児の保護者向け「安全・安心なネット利用」講座の開設による保護者への啓発

令和2年度から、インターネット利用の低年齢化に対応すべく、市立幼稚園、こども園の保護者を対象に、安心・安全なネットの利用について講話を開催（令和5年度：三溪幼稚園他5園、1小学校延べ8回実施）。

なお、幼稚園・こども園におけるニーズの高さを受け、より多くの保護者に確実に受講してもらうための方策（小学校における就学時健康診断や入学周知会での開催を校長研修会で周知・依頼）を講じ、さらに、私立の幼稚園、こども園、市立の保育所へも案内し、事業をより一層拡充していく。

### （7）スマート・メディア事業

市内の小・中学生を対象に、各校・各家庭の実態に応じて、積極的な情報機器の活用を前提として、情報機器（スマートフォン、タブレット、ゲーム機など）を賢く（スマートに）利用・活用するために、「スマート・メディアデー（ウィーク）」を設定し、生活習慣の見直しや家族の時間の確保に努め、ネット依存の防止や自己管理能力の育成とともに温かい家庭づくりにつなげる。

また、7月と8月の「夏の青少年非行・被害防止県民運動期間」に合わせ、7月を中心に地域での啓発活動として、万引き防止、スマート・メディアキャンペーンを実施する。

## 5 関係団体

高松市青少年健全育成市民会議、香川県少年育成センター連絡協議会、高松市少年育成委員連絡協議会（令和6年度末で高松市青少年健全育成市民会議と高松市少年育成センターに事業移管を行い解散予定）

# IX 生涯学習センター

生涯学習に係る機会の総合的かつ効果的な提供を促進し、市民の生涯学習の振興に努める。

## 1 施設等の概要

名 称	所 在 地	延床面積(㎡)	開館時間	開館日
生涯学習センター 愛称：まなびCAN	高松市片原町11番地1 (むうぶ片原町ビル内)	3,186.24	午前9時～午後10時 (ただし、日曜日及び休日は 午後5時まで)	H14.5.1

※ 休館日：毎週月曜日（その日が休日の場合はその後の最も近い休日でない日）  
年未年始（12月29日～1月3日）

### (1) 館内施設の規模と用途

館内施設	面積(㎡)	定員(人)	主な用途
多目的ホール	301	220	会議・講演・イベント・軽スポーツ等
大研修室	224	90	会議・講演・研修等
小研修室	84	42	会議・講演・研修等
和室	18畳	24	茶華道・会議等
OA実習室	91	20	OA実習
実習室	90	32	七宝焼・絵画・パッチワーク等
音楽室	90	16	音楽練習・録音
視聴覚室	84	42	視聴覚学習等
市民ギャラリー	66	—	展示用

## 2 運営機構

館長1人、副館長1人、副館長補佐1人、業務係長1人、業務係3人、会計年度任用職員8人（うち2人は夜間管理人）

## 3 事業概要

### (1) 生涯学習カレッジ

#### ア 一般講座

少子高齢化や情報化、環境問題などの現代的課題を中心に、個人生活に役立つ講座や社会生活に役立つ講座、施設の設備・機能を利用して楽しく学べる講座を開催する。

#### イ 専門講座（大学公開講座）

大学等と連携して、情報化や社会経済の進展に伴う新しい知識の習得を図るほか、より高度な学習機会を提供することを目的として、専門的な学習講座を開催する。

## (2) 生涯学習推進事業

### ア まなびCAN・子ども教室事業

小・中学生を対象とした講座をボランティアで開催する講師を公募し、生涯学習センターの施設を有効に活用して講座を開催する。

### イ センター利用促進事業

生涯学習センターに親しんでもらうため、市民の参加しやすい講座や映画上映会等を開催する。

### ウ 商店街との連携事業

中心市街地の活性化を図るため、生涯学習の分野における商店街の持つノウハウを学習する講座を開催する。

### エ 学習成果発表の場事業

市民や市民グループの多様な学習活動を支援するため、市民や市民グループに学習成果を生かす場を提供する。

### オ 展示事業（市民ギャラリー・エントランスホール活用事業）

市民から公募した作品等を公開展示するほか、コミュニティセンターでの各種講座・同好会活動における学習の成果（作品）の発表の場を提供する。

### カ 他団体との共催事業等

関係機関等と連携した講座を開催し、その活動の活性化を図るとともに、生涯学習の総合的かつ効果的な推進に努める。

### キ 企業等との連携事業（まなびCAN・CSR教室）

地元企業や個人事業者と連携した講座を開催し、生涯学習の観点から社会貢献（CSR）を推進する。

### ク コミュニティセンターとの連携事業

地域との連携を深めるため、コミュニティセンターで活躍する講師を招いて講座を開催し、ふるさとの魅力を学ぶ。

### ケ 庁内各課との連携事業

市の各課と連携した講座を開催し、市民の市政への参画意識の高揚や魅力と活力あふれるまちづくりの推進に努める。

### コ 夜間教室

義務教育を修了しないまま学齢期を経過した人などを対象に、義務教育課程の学習内容に関する学び直しの機会を提供する。

### サ 他施設との連携事業

市の社会教育施設などと連携して、より効果的な事業展開を図ることにより、講座への市民の参加や利用を促進する。

### シ まなびCANインターネット塾事業

まなびCANで開催した講座の概要を、まなびCANのホームページ上で公開し、市民の多様な学

習意欲に応える。

### (3) 市民参画促進事業

#### ア 生涯学習スタッフ養成講座(生涯学習コーディネーター養成講座)

地域の生涯学習を推進するコミュニティセンター職員等のスキルアップを図るとともに、各地域の生涯学習関連施設において、生涯学習を推進・援助するスタッフ（人材）の養成に努める。

### (4) コミュニティセンターにおける生涯学習事業

#### ア コミュニティセンター講座等

地域住民の多様化する学習要求に応えるため、コミュニティセンター講座等の各種講座を開設し、「地域の特色ある学習活動」を推進するなど、地域住民の自主活動の促進を図り、生活課題や地域課題を解決する場として学習機会の提供・充実に努める。

また、子どもたちに豊かな体験学習や地域との交流を深めるための各種講座を開催する。特に、「まなびの場づくり」事業については、当初、いわゆる5教科に係る講座に限定していたが、地域からの意見等も踏まえ、ふるさとの史跡探訪や地域の自然の調査・観察など、各コミュニティセンターで地域の実情に合わせた講座を柔軟に実施する。

#### イ 現代的課題への対応

地域における青少年健全育成や学習活動を通して世代間交流の促進に努めるほか、環境問題を始め、人権学習、家庭教育、ボランティア等現代的課題について、各コミュニティセンターで積極的に取り組む。

#### ウ ブロック学習圏での活動

コミュニティセンターに7つのブロック学習圏を設定し、コミュニティセンター相互の連携と職員相互のコミュニケーションを図るとともに、ブロック会を開催して生涯学習センター等との連絡やブロックごとの講座開設、施設の運営上の諸問題解決などに取り組む。

# X 文 化 財

市内に所在する文化財の保存・管理に努める一方、必要な調査を実施し文化財指定を促進するとともに、無形民俗文化財などの伝承活動の支援を行う。

また、歴史資料館、石の民俗資料館、香南歴史民俗郷土館、讃岐国分寺跡資料館、菊池寛記念館などでの展示や、本市にゆかりのある文化財を学ぶ「市民文化財教室」や「親子文化財教室」をはじめ、「歴史資料館講座」、「文芸講座」などを通じて市民が郷土の文化財や歴史・文学に触れる機会を提供し、郷土高松についての関心と理解を深める。併せて、高松に関する情報を市内・県内はもとより、全国に発信する。

## 1 文化財の保護

### (1) 国指定史跡等の保存・整備

重要文化財披雲閣大書院耐震補強工事

### (2) 文化財の調査

緊急調査としては、道路建設などの公共及び民間開発に伴う埋蔵文化財発掘調査を行う。また、公共及び民間の開発行為に伴う埋蔵文化財試掘及び立会調査を行い、調査報告書を刊行する。

また、これら報告書を図書館や研究機関等へ配付する。

### (3) 文化財の指定及び登録

文化財の調査を進め、重要なものについては、高松市文化財保護審議会に諮問し、市指定や市登録に努める。また、特に重要なものについては、国及び県指定を目指す。

#### ア 市内所在国・県・市指定及び登録文化財件数表

(6. 4. 1 現在)

種 別		指 定 区 分				登 録 区 分			
		国	県	市	計	国	県	市	計
有 形 文化財	建造物	8	4	6	18	121	0	0	121
	絵画	3	2	2	7	0	0	0	0
	彫刻	8	6	2	16	0	0	0	0
	工芸品	8	6	12	26	0	0	0	0
	書跡・典籍	7	0	7	14	0	0	0	0
	古文書	2	0	1	3	0	0	0	0
	考古資料	0	1	7	8	0	0	0	0
	歴史資料	0	0	4	4	0	0	1	1
	小 計	36	19	41	96	121	0	1	122
無形文化財		2	4	1	7	0	0	0	0
民 俗 文化財	有形民俗	6	5	4	15	1	0	0	1
	無形民俗	0	4	6	10	0	0	0	0
記念物	史跡（特別史跡含む）	9	3	13	25	0	0	11	11
	名勝（特別名勝含む）	2	1	0	3	1	0	0	1
	天然記念物	1	5	6	12	0	0	0	0
	小 計	12	9	19	40	1	0	11	12
合 計		56	41	71	168	123	0	12	135

※ 無形文化財数は、保持者または保持団体の数とした。

イ 国指定文化財一覧表

(6. 4. 1 現在)

種 別		名 称 及 び 所 在 地
重要文化財	建造物	国分寺本堂、高松城 北之丸月見櫓・北之丸渡櫓・北之丸水手御門・旧東之丸良櫓、屋島寺本堂、小比賀家住宅 主屋・午門・土蔵・米蔵・附土塀（御厩町）、旧河野家住宅、旧下木家住宅（2件とも四国村）、披雲閣 本館・本館付倉庫・倉庫 附裏門・井戸屋形・袖塀2棟・四阿2棟（玉藻公園）、香川県庁舎旧本館及び東館 附石灯籠3基・太鼓橋1基・家具 57点・旧本館バルコニー手摺1基
	絵画	絹本着色十王像、絹本着色観世音功德図屏風、紙本金地著色源氏物語図（若菜、紅葉賀）屏風（3件とも法然寺）
	彫刻	木造千手観音立像（国分寺）、木造不動明王立像（弘憲寺）、木造四天王立像（鷲峰寺）、木造毘沙門天立像（香西寺）、木造千手観音坐像（屋島寺）、木造千手観音立像（根香寺）、木造菩薩立像（正花寺）、板彫阿弥陀曼荼羅（開法寺）
	工芸品	太刀 銘 元重（県立ミュージアム）、銅鐘（国分寺）、密教法具（弘憲寺）、田村神社古神宝類（市歴史資料館）、太刀 銘 兼氏（個人蔵）、梵鐘（屋島寺）、短刀 銘 國吉（個人蔵）、刀 折返銘 備州長船景光（個人蔵）
	書跡・典籍	藤原佐理筆詩懷紙*国宝、紙本墨書月江正印墨蹟印可状、紙本墨書清拙正澄墨蹟平心字号、光厳院宸翰御奉納心経、法華経（5件とも県立ミュージアム）、万葉集卷第十五残卷 天治本（冠纒神社）、古今和歌集卷下（個人蔵）
	古文書	紙本墨書花園天皇宸翰御消息（県立ミュージアム）、後深草天皇宸翰御消息（法然寺）
重要無形文化財(工芸技術)		蒟醬（保持者：山下義人、大谷早人）
重要有形民俗文化財		瀬戸内海及び周辺地域の漁撈用具、瀬戸内海の船図及び船大工用具、西日本の背負い運搬具コレクション（3件とも瀬戸内海歴史民俗資料館）、讃岐及び周辺地域の砂糖製造用具と砂糖しめ小屋・釜屋、讃岐及び周辺地域の醬油醸造用具と醬油蔵・麴室（2件とも四国村）、牟礼・庵治の石工用具（石の民俗資料館）
記念物	史跡	讃岐国分寺跡*特別史跡、府中山内瓦窯跡、讃岐国分尼寺跡、石清尾山古墳群、屋島、高松城跡、讃岐遍路道一根香寺道一、高松藩主松平家墓所（法然寺）、勝賀城跡（鬼無町ほか）
	名勝	栗林公園*特別名勝、披雲閣庭園
	天然記念物	屋島

ウ 国登録文化財一覧表

(6. 4. 1 現在)

種 別		名 称 及 び 所 在 地
有形文化財	建造物	旧御殿水源地 唧筒場など6件、四国村 異人館ワサ・ダウン住宅など27件、郷屋敷（旧井上家住宅）主屋など15棟、山田屋（旧清酒源氏正宗醸造元）主屋など8件、村尾家住宅 主屋など6件、天満屋呉服店 主屋など2棟、香龍北川家住宅 主屋など2棟、愛染家住宅 主屋など4棟、田中家住宅 主屋など2棟、中村家住宅 主屋など2棟、料亭二蝶 主屋など4棟、間島家住宅 主屋など5棟、谷本家住宅 主屋1棟、滝口家住宅 主屋1棟、増井家住宅 主屋など3棟、宮處八幡宮 本殿など4件、真鍋家住宅 主屋など9棟、本堯寺松平頼談靈廟、男木島灯台など5件、森家住宅 納屋など2棟、漆原家住宅 主屋など8棟、旧南原家住宅 主屋など4棟 合計121件
民俗文化財	有形民俗	讃岐六条の水車及び関連用具
記念物	名勝	増井氏庭園

エ 県指定文化財一覧表

(6. 4. 1 現在)

種 別		名 称 及 び 所 在 地
有形文化財	建造物	旧入江家住宅（牟礼町）、旧山下家住宅、旧黒瀬家丸亀藩御用蔵、旧丸亀藩番所 附境界標柱（3件とも四国村）
	絵画	紙本着色高松城下図八曲屏風、高松松平家博物図譜（2件とも県立ミュージアム）
	彫刻	木造地藏菩薩立像（弘憲寺）、木造五大尊像、木造智証大師坐像（2件とも根香寺）、金銅誕生釈迦仏立像（県立ミュージアム）、木造阿弥陀如来坐像、木造釈迦如来坐像、木造弥勒菩薩坐像（3軀で1件、法然寺）、木造六字明王立像（円成庵）
	工芸品	銅鐘（法泉寺）、青貝微塵塗鞘および大小拵、蒟醬料紙箱及び硯箱、堆朱鼓箱（3件とも県立ミュージアム）、刀 無銘 伝江義弘（市歴史資料館）、刀 銘 龍藻軒多田鷹成（個人蔵）
	考古資料	平形銅剣 高瀬町北条出土（県立ミュージアム）
無形文化財(工芸技術)		蒟醬（保持者：伊賀寛泰、太田勝子）、彫漆（保持者：北岡省三）、髹漆(きゅうしつ)（保持者：竹内幸司）
有形民俗文化財		香翠座人形頭（香翠座デコ芝居保存会）、ひょうげ祭りの神具（ひょうげ祭り保存会）、冠纒神社の大獅子（香南町）、高松藩飛竜丸船明細切絵図（県立ミュージアム）、栗島伊勢神宮奉納舟絵馬（瀬戸内海歴史民俗資料館）

種 別	名 称 及 び 所 在 地	
無形民俗文化財	祇園座（香川町農村歌舞伎保存会）、庵治締太鼓（庵治締太鼓保存会）、香翠座デコ芝居（香翠座デコ芝居保存会）、庵治の船祭り（庵治皇子神社船渡御保存会）	
記念物	史跡	生駒親正夫妻墓所（弘憲寺）、今岡古墳（鬼無町）、高松市茶臼山古墳（前田西町ほか）
	名勝	小比賀家築山庭園（御厩町）
	天然記念物	船山神社のクス（仏生山町）、ソテツの岡、根上りカシ（2件とも栗林公園）、一瀬神社社叢（中山町）、岩部八幡神社のイチヨウ（塩江町）

## オ 市指定文化財一覧表

（6. 4. 1 現在）

種 別	名 称 及 び 所 在 地	
有形文化財	建造物	国分寺北部小学校校門（国分寺町）、旧中石家住宅 主屋・隠居屋・納屋、小豆島の農村歌舞伎舞台、茶堂、旧吉野家住宅（4件とも四国村）、旧新塩屋町小学校門柱（末広町）
	絵画	生駒親正肖像画（弘憲寺）、紙本墨画淡彩玉蘭精舎祝宴図屏風（市歴史資料館）
	彫刻	金銅誕生釈迦仏立像（西方寺）、木造阿彌陀如来立像（観興寺）
	工芸品	摩尼輪塔（国分寺町）、脇差 銘 讃州住盈永、仏餉茶碗（2件とも県立ミュージアム）、鰐口（個人蔵）、藤尾八幡神社奉納鏡（西植田町）、本小札肩白紺糸織具足・二方白四十八間筋兜、刀 銘 讃州住盈永 附盈永文書、剣 銘 則國（3件とも市歴史資料館）、狭貫彫堆黒松ヶ浦香合（忘貝香合）隠し彫「松」「波」「天」、堆朱簞篋、讃岐彫堆朱手向山香盒、彩色蒔醬水指棚（4件とも市美術館）
	書跡・典籍	徳川家綱安堵判物案、永井尚庸・小笠原長頼連署奉書、松平頼重筆 和歌帳、松平頼重 短冊屏風（4件とも県立ミュージアム）、生駒家時代讃岐高松城屋敷割図 附同引伸図、讃岐国一宮田村大社 壁書（2件とも市歴史資料館）、大般若波羅蜜多經（願成寺）
	古文書	由佐家文書（香南歴史民俗郷土館）
	考古資料	楠尾神社経塚出土遺物（楠尾神社）、石船石棺（国分寺町）、御城俊禪菟集古瓦（洲崎寺）、大空遺跡出土弥生土器 53 点、鶴尾神社 4 号墳出土獣帯方格規矩四神鏡（2件とも市歴史資料館）、天満・宮西遺跡出土銅鐸（市埋蔵文化財センター）、伝香川町浅野出土石棺（香川町）
	歴史資料	山内村史、讃岐国絵図、高松城天守鯨（3件とも市歴史資料館）、玉椿象谷関連資料（市美術館）
無形文化財	水任流泳法（水任流保存会）	
有形民俗文化財	清水神社の甕塚と上御盃跡（由良町）、祇園座衣装（香川町）、住吉神社お船「住吉丸」（「弁才船」の模型）、才田獅子頭（2件とも庵治町）	
無形民俗文化財	庵治おどり、庵治町才田岩陰獅子舞（2件とも庵治町）、石切り唄、田井の子供神相撲（2件とも牟礼町）、ひょうげ祭り（香川町）、椀川たたら踊り（塩江町）	
記念物	史跡	石ヶ鼻古墳（国分寺町）、久本古墳（新田町）、大井戸（瓦町）、前田城跡（前田西町）、下司廃寺塔跡（東植田町）、藤尾城跡（香西本町）、十河城跡（十川東町）、古宮古墳（鬼無町）、片山池 1 号窠跡（西春日町）、神内家墓地石塔群（西植田町）、東赤坂古墳、横岡山古墳（2件とも香川町）、三谷石舟古墳（三谷町）
	天然記念物	大石さんのムクノキ（西山崎町）、男木島の柱状節理および岩海（男木町）、女木島の柱状節理（女木町）、平石井神社のクロガネモチ（今里町）、如意輪寺のヤブツバキ（国分寺町）、西方寺配水池のソメイヨシノ（西宝町）

## カ 市登録文化財一覧表

（6. 4. 1 現在）

種 別	名 称 及 び 所 在 地
有形文化財	歴史資料 文明塾扁額（国分寺町）
記念物	史跡 城所山 2 号墳（香南町）、佐藤継信の墓、総門、射落島、祈り岩、駒立岩、長刀泉、菜切地蔵、弁慶の投げ石、柴野栗山宅址、六萬寺 附杉の井（10件とも牟礼町）

※長い名称は一部省略した。また、文化財の所在地は、個人情報保護の観点等から最小限の表記にとどめた。

### （4）文化財の保存・管理

- ・ 指定文化財の保存・管理
- ・ 史跡天然記念物屋島の管理
- ・ 特別史跡讃岐国分寺跡及び史跡讃岐国分寺跡の管理
- ・ 史跡高松城跡の管理
- ・ 文化財保存修理、管理及び保存伝承活動等に要する経費の一部助成

## (5) 文化財の公開・活用

- ・ 「ふるさと探訪」(史跡等探訪行事)の実施(年4回)
- ・ 「市民文化財教室」(文化財学習会)の実施(年1回4連載)
- ・ 「親子文化財教室」(体験型歴史・民俗・伝統文化学習会)の実施(年2回)
- ・ 遺跡発掘現場等における現地説明会の実施(随時)

## (6) 文化財関係資料、パンフレットの作成・配布

- ・ 「むかしの高松」、「屋嶋城」、「石清尾山古墳群」、「讃岐国分寺跡」等のパンフレット
- ・ 埋蔵文化財調査報告書
- ・ 文化財紹介冊子「高松市の文化財」
- ・ 図録「史跡高松城跡」
- ・ 読本「史跡天然記念物屋島」

## (7) 埋蔵文化財センター事業

- ・ 連載講座、体験学習、出前講座の実施
- ・ 市内で実施した主要な調査成果や最新の調査成果を展示
- ・ 写真資料、報告書等の整理・保管
- ・ 出土遺物の整理・保存

## 2 歴史資料館

歴史資料館は本市の歴史、考古、民俗等に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与することを目的に平成4年11月3日開館、各種展示・教育普及事業等を実施している。

18年1月10日の近隣5町との合併により、3館が新しく加わった。石の民俗資料館は石と人間の文化との係わりの歴史に、香南歴史民俗郷土館は市南部地域の歴史や民俗に、讃岐国分寺跡資料館は特別史跡讃岐国分寺跡のガイダンス施設として歴史的意義を後世に伝えていくことなどにそれぞれ重点をおき、「4館で1館」との共通理念のもと特色を持った館運営を行っている。

### (1) 施設等の概要

名称	所在地	延床面積(m <sup>2</sup> )	開館時間	開館日
高松市歴史資料館	高松市昭和町一丁目2番20号 (サンクリスタル高松4階)	1,925	午前9時 ～午後5時	H4.11.3
高松市石の民俗資料館	高松市牟礼町牟礼1810番地	1,709.86		H7.3.20
高松市香南歴史民俗郷土館	高松市香南町由佐253番地1	1,144.30		H10.5.3
高松市讃岐国分寺跡資料館	高松市国分寺町国分2177番地1	288	午前9時 ～午後4時30分	H5.9.4

※ 休館日：毎週月曜日(その日が国民の休日の場合はその後の最も近い休日でない日)  
年末年始(12月29日から1月3日まで)

### (2) 運営機構

(6.4.1現在)

歴史資料館 館長1名(再雇用)、課長補佐兼業務係長1名、  
係員7名(含会計年度任用職員5名)

石の民俗資料館 館長1名(再任用)、係員4名(含会計年度任用職員3名)

香南歴史民俗郷土館 館長1名(再雇用)、係員2名(会計年度任用職員)

### （3）事業概要

#### ア 常設展示

施設	内容	観覧料
歴史資料館	原始から現代に至るまでの高松の歴史・民俗・考古等に関する資料を年代順に実物資料・模型・レプリカ・映像等により展示・解説。 江戸時代の御座船「飛龍丸」の1/5模型も復元。	一般 300 円 大学生 200 円 高校生以下無料 (20 人以上の団体は 2 割引)
石の民俗資料館	世界的銘石「庵治石」の産地であり、石工たちが培ってきた知恵と技術を後世に継承することをメインテーマに、石の文化と歴史を映像とジオラマ、実物資料等により展示・解説。	一般 300 円 大学生 200 円 高校生以下無料 (20 人以上の団体は 2 割引)
香南歴史民俗郷土館	在野の儒学者・中山城山に関する資料、由佐家文書など歴史・考古に関する資料を展示・解説。 また、水車などの民具を展示した民俗展示室も併設。	原則無料 (特別企画展示のみ) 一般 300 円 大学生 200 円 高校生以下無料 (20 人以上の団体は 2 割引)
讃岐国分寺跡資料館	讃岐国分寺が造られた頃の文化・歴史を発掘調査で出土した瓦・土器を中心に、レプリカ、映像資料等により展示・解説。 国分寺金堂模型（1/20 縮尺）も展示。	一般 200 円 大学生 150 円 高校生以下無料 (20 人以上の団体は 2 割引)

#### イ 収蔵品展及び企画展

施設	展覧会名	内容	開催期間
歴史資料館	収蔵品展 「おでかけ展 -野に出る四季を楽しむ-」	江戸時代以降に制作された民具、絵画、古文書などの資料を手がかりに、「おでかけ」をキーワードとして、当時の人々の暮らしや生き方を探り、来館者自身の在り方を見つめ直すきっかけとなるような展示とする。	R6. 4. 27 ～R6. 6. 30
	収蔵品展 「まちの芝居小屋 -延寿閣 KABUKI-」	明治時代に片原町に建てられた延寿閣という芝居小屋が所蔵していた衣装などを中心に展示し、明治時代以降の高松のまちと庶民の娯楽としての歌舞伎について紹介する。	R6. 7. 20 ～R6. 8. 25
	第 82 回企画展 「VIEW OF TAKAMATSU 遊覧案内図にみる近現代高松の風景」	大正から昭和前期の高松の観光パンフレットを中心に、あわせて写真・絵葉書を展示し、当時の高松の姿を示す歴史資料として、新たな視点で捉える機会となるよう紹介する。	R6. 10. 26 ～R6. 12. 22
	収蔵品展 「幕末維新期の高松（仮称）」	高松藩の幕末から明治の「御一新」にかけての動きを高松藩の政治、思想、民衆の 3 つの面から、収蔵資料を中心に再検討し、地域の歴史を展示・紹介する。	R7. 1. 25 ～R7. 3. 16

石の民俗資料館	企画展 「第38回 思可牟展」	京都市立芸術大学の卒業生で香川県に縁のある作家のグループ「思可牟」による漆芸・陶芸・日本画等の作品を展示・紹介する。	R6. 7. 20 ～R6. 8. 25
施設	展覧会名	内 容	開催期間
香南歴史民俗郷土館	企画展 「令和4年度 高松市遺跡発掘調査報告展」	高松市埋蔵文化財センターが令和4年度に発掘調査した遺跡から5遺跡を取り上げ、解説パネルや出土遺物、ドローンで撮影した映像も合わせ調査の成果を展示する。	R6. 6. 1 ～R6. 7. 28
	企画展 「西嶋八兵衛の事績を探る－香東川流域の利水と治水－」	香東川の改修洪水の処理やため池の築造など、近世の讃岐平野の灌漑工事に貢献した西嶋八兵衛の業績を探る。	R6. 8. 3 ～R6. 9. 23
	特別企画展 「日本刀展（仮称）」	日本美術刀剣保存協会 香川県支部の協力で、日本刀を展示・紹介する。	R6. 10. 27 ～R6. 12. 22
	企画展 「第24回 篆刻展」	郷土館講座「篆刻教室」の受講生の作品を展示する。	R7. 1. 17 ～R7. 2. 19
	企画展 「第24回 郷土の文化拓本展」	郷土館講座「拓本と表装を楽しむ」の受講生の作品を展示する。	R7. 3. 2 ～R7. 3. 23
讃岐国分寺跡資料館	企画展（埋蔵文化財展） 「讃岐の古瓦・東讃編－岩佐コレクションを中心に－」	岩佐丈太郎氏が収集した古代寺院等に関する瓦資料の中から讃岐国分寺跡や尼寺跡の瓦のほか、県内東讃地域の寺院の瓦を展示する。	R6. 4. 27 ～R6. 7. 7
	企画展 「国分寺町の文化財－石にまつわる文化財編－（前期）」	讃岐国分寺跡に数多く遺されている礎石は、往時の姿を伺うことができる重要な遺物である。国分寺町内には、国分寺跡のほか、石に関する文化財が多数残されており、本展で紹介するとともに近年寄贈をいただいた資料（サヌカイト等）も展示する。	R6. 7. 17 ～R6. 9. 16
	企画展 「国分寺町の文化財－石にまつわる文化財編－（後期）」		R6. 9. 18 ～R6. 12. 15
	企画展 「石工の道具（仮）」	石の民俗資料館と連携し、様々な石工道具を展示する。	R7. 1. 23 ～R7. 3. 24

※ 上記のほか、ロビー展・ホール展など、年間を通して開催する。

## ウ 資料の収集・調査・研究

本市の歴史、考古、民俗等に関する資料の収集に努めるとともに調査・研究を行う。

### (ア) 収蔵資料点数

(5年度末現在)

	歴史資料	民俗資料	美術資料	考古資料	玩具資料	その他	合 計
歴 史 資 料 館	29,875	12,790	3,684	5,536	4,863	199	56,947
石の民俗資料館	19	6,502		3		588	7,112
香南歴史民俗郷土館	4,254	414	9	120	126	365	5,288
讃岐国分寺跡資料館		1		96		78	175

## エ 教育普及

市内小学生を対象にサンクリスタル学習（中央図書館・菊池寛記念館・歴史資料館3館を利用して実施する体験学習）を開催するほか、各種講座の開催、市民グループ（友の会など）との共催事業を実施する。また、博物館実習や職場体験学習の受入れなど教育普及活動の充実に努める。

施設	内容
歴史資料館	<ul style="list-style-type: none"><li>・サンクリスタル学習の実施</li><li>・博物館実習生の受入れや近隣大学との連携による事業の実施</li><li>・古文書解読ボランティア、資料館サポーターなど市民との協働</li><li>・各種講座の開催（古文書講座、夏休みこども歴史講座、讃岐村塾など）</li><li>・出前資料館の実施</li></ul>
石の民俗資料館	<ul style="list-style-type: none"><li>・各種講座の開催（工作教室、古文書講座など）</li><li>・資料館コンサートの実施（友の会との共催）</li><li>・博物館実習生や職場体験学習の受入れ</li><li>・出前資料館の実施</li></ul>
香南歴史民俗郷土館	<ul style="list-style-type: none"><li>・各種講座の開催（篆刻教室、拓本と表装講座、夏休み子ども講座など）</li><li>・図書室の運用</li><li>・出前資料館の実施</li></ul>
讃岐国分寺跡資料館	<ul style="list-style-type: none"><li>・各種講座の開催（歴史講座、古代文化体験講座、伝統文化こども箏教室）</li><li>・友の会、天平文化倶楽部との共催事業の実施（講座・コンサートなど）</li><li>・讃岐国分寺史跡まつり</li></ul>

## オ 収蔵品情報システムの整備・充実

歴史資料館等の収蔵品データを整備し、「収蔵品情報システム」により公開可能な情報をインターネットで広く市民に公開する。

### 3 菊池寛記念館

高松市が生んだ偉大な文化人で、現在の文壇の隆盛の礎を築いた菊池寛の功績と名誉を末永く顕彰するとともに、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与する。

#### (1) 施設等の概要

名称	所在地	延床面積	開館時間	開館日
菊池寛記念館	高松市昭和町一丁目2番20号 (サンクリスタル高松3階)	687㎡	午前9時 ～午後5時	H4.11.3

※ 休館日：毎週月曜日（その日が国民の休日の場合はその後の最も近い休日でない日）  
年末年始（12月29日から1月3日まで）

#### (2) 運営機構

館長1名（再任用）、業務係長1名、係員6名（再任用1名、会計年度任用職員5名）

#### (3) 事業概要

##### ア 常設展

- ・ 菊池寛の生涯と業績を、遺品、生原稿、著書、写真等で編年的に展示するとともに、解説映像でも紹介
- ・ 菊池寛の生家、上演戯曲舞台を模型により再現、東京の雑司ヶ谷の旧宅内の書斎を原寸復元により展示
- ・ 「芥川賞」、「直木賞」、「菊池寛賞」の受賞者及び受賞作品等の紹介
- ・ 高松にゆかりのある文学者・作家の著書等の展示をする郷土作家コーナーの設置
- ・ 菊池寛の著書や芥川・直木賞受賞作品等が閲覧できる研究・閲覧室の設置

##### イ 企画展等の開催

(ア) 菊池寛記念館第33回文学展（菊池寛顕彰事業実行委員会主催、高松市・菊池寛顕彰会共催）

a 文学展 「サザエさんと菊池寛のうちあけ話」

- ・ 令和6年9月7日～10月14日（於：サンクリスタル高松4階企画展示室）
- ・ 日本初の女性漫画家として昭和を駆け抜け、現在も愛される数多くの作品を残した、長谷川町子。彼女は漫画家としてだけではなく、イラストレーター、デザイナーなど、多方面で活躍。

長谷川町子の自伝的まんが「うちあけ話」を中心に、鮮やかな町子の仕事と、その頃の雑誌文化、そして菊池寛と長谷川町子、そして長谷川家との関りを紹介する。

b 関連行事

- ・ サザエさん 吹き出しコンテスト 同時開催
- ・ 講演会 9月28日 「懐かしくて新しい、長谷川町子の世界」

(イ) 菊池寛記念館特別講演会（菊池寛顕彰事業実行委員会主催、高松市・菊池寛顕彰会共催）

- ・ 郷土が生んだ文豪菊池寛の業績をたたえるとともに、広く市民の方々に文学に対する理解と関心を深めていただくため、菊池寛が創設した芥川賞・直木賞ゆかりの作家等による特別講演会を開催する。
- ・ 春風亭小朝（噺家）令和6年9月14日「笑門来福」（サンポートホール高松第1小ホール）

## (ウ) コレクション展

収蔵資料を中心に近代文学をテーマとする展示を年5回程度開催

## ウ 資料収集

関係資料、関係図書等の収集及び適切な整理保管

## エ 菊池寛顕彰事業

(ア) 第60回香川菊池寛賞の贈呈（菊池寛顕彰事業実行委員会主催、高松市・高松市教育委員会・菊池寛顕彰会共催）

文学作品（小説・随筆・戯曲（脚本））を県内等から募集・選奨し、賞を贈呈

(イ) 第33回菊池寛ジュニア賞の贈呈（菊池寛顕彰会主催、高松市・高松市教育委員会共催）

生活作文・読書感想文（「寛学」事業で配布した菊池寛文学作品集をはじめ菊池寛の著作物を推奨）・創作作品を高松市内の小中学校に在籍する児童・生徒から募集・選奨し、賞（最優秀賞、優秀賞、寛学賞、優良賞）を贈呈

## オ 文化活動事業

(ア) 文芸講座（高松市・菊池寛顕彰会の共催）

地元文化の振興を図るため、郷土において活躍している方々等を講師に文芸講座を開催  
令和6年6月～7年3月までの間（全10回開催）

(イ) 「文藝もず」第25号発行

第59回香川菊池寛賞受賞作品の全文掲載を始め、多彩な方からの寄稿を掲載

(ウ) 菊池寛ジュニア賞受賞作品集発行

第32回菊池寛ジュニア賞の全入賞作品を掲載

(エ) 読書感想文作りの支援

菊池寛児童読物などを読み、感想文の書き方を指導（7月26日）

(オ) 「菊池寛劇場」

菊池寛の命日である3月6日を記念して開催する菊池寛アニバーサリーの関連行事として、菊池寛作品等の朗読等を実施（3月上旬1回）

(カ) サンクリスタル学習

市内の小学生を対象に歴史資料館、菊池寛記念館、中央図書館の3館を利用して実施する体験学習を実施

# XI 美 術 館

魅力あふれる地域文化の向上を図り、市民の生涯教育に寄与するため特別展及び収蔵品を展示する常設展を開催し、市民に優れた芸術を鑑賞できる機会を提供するとともに、各種講座・芸術的催し物を開催し、美術に関する教育普及活動を推進して本市の芸術文化の振興に努める。

また、美術品・美術図書・映像資料などの美術資料を収集し、充実を図る一方、市民が作品発表の場として気軽に利用できる市民ギャラリーを設けて開かれた美術館を目指す。

## 1 施設等の概要

名称	所在地	延床面積 (㎡)	開館時間	開館日
高松市美術館	高松市紺屋町10番地4	9,875.80	午前9時30分～午後5時 ただし、特別展開催期間中の金・土は午後7時まで	S63.8.6
高松市塩江美術館	高松市塩江町安原上602番地	829.32	午前9時～午後5時	H6.4.25

※休館日：毎週月曜日（その日が国民の休日の場合はその後の最も近い休日でない日）  
年未年始（12月29日～1月3日）

## 2 運営機構

美術館長1名（兼務）、課長1名、課長補佐1名、副主幹1名、業務第一係8名（うち、会計年度任用職員3名）、業務第二係6名（うち、会計年度任用職員3名）、塩江美術館長1名（兼務）、塩江美術館業務係3名（うち、会計年度任用職員1名）、アート・アドバイザー1名（非常勤嘱託職員）

## 3 高松市美術館事業概要

### （1）令和5年度事業報告

高松市美術館の利用者数 164,005人（開館日数 309日）

#### ア 展覧会の開催

・展覧会数 年間61展

【内訳】

特別展4展、コレクション展5展、日本伝統漆芸展、貸館51展（一般・企画展示室17展、市民ギャラリー34展）

・入場者数 116,943人

## (ア) 特別展

開催展数：4展 開催日数：188日間 入場者数：44,297人（1日平均 235.6人）

展覧会名	会期	日数 (日)	入場者数 (人)	展覧会の内容
フィンランドの ライフスタイル ～暮らしを豊かに するデザイン～	4/15 (土) ～6/11 (日)	50	16,195	20世紀初頭から、ものづくりにおいて自然との調和を重視してきたフィンランドの代表的なデザイナーたちの作品を展示した。 アルヴァ・アアルトやイルマリ・タピオヴァーラを始めとする巨匠デザイナーの名作椅子の他、カイ・フランクやオイバ・トイッカ、石本藤雄など、陶器、ガラス、テキスタイル等の生活用品約800点と、それら優れたデザインを生み出したフィンランドの豊かな暮らしを紹介した。
上田薫展	7/15 (土) ～9/18 (月・祝)	57	10,387	なま玉子やゼリーなど身近なモチーフを超写実的に描く上田薫(1928年東京生まれ)の初期作品から最新作までを紹介した。 70年代に入り写真を使って対象を精巧に描き出す独自の写実表現を確立した上田のリアルを追求した作品は、情報技術が進み写真や映像の表現が進化し続けている現代においても、新しい視点で観客の目を楽しませてくれる。多彩な表現を続ける上田の描くことへのあくなき興味と挑戦を感じてもらえた。
令和5年度国立美術館巡回展 20世紀美術の冒険者たち -名作でたどる日本と西洋のアート	9/30 (土) ～11/19 (日)	44	6,662	1952年に開館した東京国立近代美術館は、約70年にわたって日本近現代美術の収集と歴史化に努め、日本の美術界をリードしてきた。本展では、西洋の動向を交えつつ日本の近現代美術の軌跡を東京国立近代美術館所蔵の洋画・彫刻コレクションによって展観した。 岸田劉生、藤田嗣治、岡本太郎、ピカソ、カンディンスキーら東西の巨匠による名品の数々を紹介すると同時に、巡回館である熊本県立美術館と当館所蔵の関連作品も併せて展示した。
川瀬巴水展 旅と郷愁の風景	1/24 (水) ～3/6 (水)	37	11,053	大正から昭和にかけて活躍した木版画家・川瀬巴水(1883～1957〔明治16～昭和32〕年)。 近代化の波が押し寄せ、街や風景が目まぐるしく変貌していく時代に、巴水は日本の原風景を求めて全国を旅し、庶民の生活が息づく四季折々の風景を描いた。初期から晩年までの代表的な作品など約180点により叙情的な巴水の風景世界へと誘った。
合計		188	44,297	

(イ) コレクション展

開催展数：5展 開催日数：252日間 入場者数：26,397人（1日平均 104.8人）

展覧会名	会期	日数 (日)	入場者数 (人)	展覧会の内容
第1期	4/6(木)～ 6/18(日)	64	8,071	常設1 いろいろな線 常設2 金工の美 大須賀喬と大須賀選
第2期	6/24(土)～ 9/18(月・祝)	75	8,223	常設1 物語る—記録、ストーリー、歴史 常設2 師弟と家族—太田儔を中心に
第3期	9/23(土・祝)～ 11/12(日)	44	5,347	常設1 川島猛展 常設2 漆と色彩 —讃岐漆芸にみる顔料の革新
第4期	11/15(水)～ 1/20(土)	53	3,224	常設1 ワタシを見つめて 常設2 100の香合 こんまい世界
第5期	3/9(土)～ 3/27(水)	16	1,532	常設1 第41回日本伝統漆芸展 常設2 追悼 磯井正美展 —伝統から創造へ
合計		252	26,397	

(ウ) 貸館

- ・一般展示室・企画展示室

開催展数：17展 開催日数：72日間 入場者数：26,665人（1日平均 370.3人）

- ・市民ギャラリー

開催展数：34展 開催日数：183日間 入場者数：19,584人（1日平均 107人）

イ 講演会・講座等

(ア) 記念講演会等

主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やギャラリートークなどイベントを開催した。

開催回数：20回 参加者数：1,944人（展覧会の内数 370人を含む）

a 記念講演会等 場所：講堂／対象：一般／無料

開催日	講師・出演者	内容	参加者数 (人)
4/15(土)	石本藤雄 (テキスタイルデザイナー、陶芸家) 平井千里馬 (スコープ代表)	記念対談 「フィンランドの記憶」	574 (464)
5/20(土)	植村友香子 (香川大学特命准教授、香川フィン ランド協会常任理事)	記念講演 「日本語を学ぶフィンランド人、フ ィンランドからみた日本」	348 (244)
7/15(土)	上田葉子 (キルト作家、上田薫妻) 横井孝蔵 (光と緑の美術館)	記念対談 「上田薫の絵画」	214 (164)
9/30(土)	佐原しおり (東京国立近代美術館研究員)	記念講演会 「あなたは誰？描かれた「モデル」 から読み解く近現代美術」	226 (161)
1/28(日)	岩切信一郎 (美術史家)	記念講演会 「川瀬巴水の版画世界」	148
合計			1,510 (1,033)

※参加者数（ ）は、参加者数のうち、ライブ配信視聴者数

b アートアドバイザー講座

開催日	講師	内容	参加者数 (人)
12/23 (土)	原 久子	自画像をめぐる	43
3/20 (水・祝)	(当館アートアドバイザー)	風景画による旅	21
合計			64

c ギャラリートーク (当館学芸員等による)

(a) 特別展 開催回数 7 回、参加延べ人数 256 人 (展覧会入場者数と重複)

(b) コレクション展 開催回数 6 回、参加延べ人数 114 人 (展覧会入場者数と重複)

(イ) 教育普及活動等

a ワークショップ

美術作家等によるワークショップを開催し、未就学児を始め様々な年代層に表現の可能性や楽しさを体験してもらった。

開催回数：14 回 参加者数：269 人

開催日	講師	内容	対象	場所	参加者数 (人)
7/16(日) 午前/午後	松尾真由美 (美術家)	スプーンのなかの世界	小学生以上	講座室	33
7/22 (土)	小川信治 (美術家)	SHINJING で絵を描こう!	小学生以上	講座室	11
10/14 (土)	小笠原新也 (耳の聞こえない鑑 賞案内人)	かく・みる冒険 筆談鑑賞	小学生以上 <*1>	講堂 ほか	8
10/15 (土)	進行 朝倉茂樹 (香川県立 視覚支援学校教員) アドバイザー 日野陽子 (京都教育 大学美術科准教授)	みるって何だろう? 一見えない・見えにくい人と 共に行う美術鑑賞会	中学生以上 <*2>	講堂 ほか	18
12/10 (日)	照沼敦朗 (美術家)	照沼敦朗「ペーパーアニメー ション」	小学生	講座室	9
2/10 (土)	下村宏 (版画家)	陰刻版画に挑戦!	小学4年生以上	講座室	15
2/18 (日)	辻野由樹 (イラストレータ ー)	ココロ絵日記「さんきゅうサ ンキュー」を描こう!	高校生以上	講座室	9
2/24(土) 午前/午後	谷由貴 (芸術士)	春色のきもちを絵がこう!	年中~小学1 年生及び概 ね 65 歳以上	講座室	58
3/3(日)	野村誠 (音楽家)	サヌカイトを鳴らして美術 館の開館・閉館音楽づくりに 参加しよう!	どなたでも	講堂	56

開催日	講師	内容	対象	場所	参加者数 (人)
3/10(日) 午前/午後	うにのれおな (イラストレーター)	クレヨン☆スクラッチでかこう！	5歳～小学生	講座室	28
3/30(土)	平子雄一 (現代美術家)	地産のものを使って、身の回り にある大切なものを描こう！	小学生以上	講座室	28
合計					269

b 子どものアトリエ

開催回数：4回 参加者数：51人

開催日	講師	テーマ	対象	場所	参加者数 (人)
7/23(日) 午前/午後	さとうゆうじ (美術家)	サカナ型彫刻をつくろう！	小学生以上	講座室	33
10/29(日) 午前/午後	小松智香 (版画家)	ハロウィンおばけな紙版画を 刷ろう！	午前：5歳～小学 2年生 午後：小学3年生 以上	講座室	18
合計					51

c 出前講座

市内各地で出前講座を開催した。

開催回数：7回 参加延べ人数：147人

開催日	講師	内 容	開催場所	参加者数 (人)
9/6(水)	当館 学芸員補	アートで遊ぼう！	NPO 法人川東校区コミュニティ協議会	36
9/20(水)			栗林地区老人クラブ連合会	43
12/5(火)			高松市生涯学習センター (まなびCAN)	7
12/12(火)				8
2/8(木)			社会福祉法人 高松市社会福祉協議会 香川	10
2/13(火)			社会福祉法人 高松市社会福祉協議会 香南老人介護支援センター	23
3/13(水)			社会福祉法人 高松市社会福祉協議会高 齢者支援推進事業	20
合計				147

d ふらっとアート

子どもを始め、来館者が気軽にアートを楽しむことのできる空間として、「こども+（こどもアートスペース）」において、アートプログラムを開催し、5,019人（対象：小学生以下、参加費：無料）が参加した。また、こども+利用者総数は、5,345人であった。

開催期間	プログラム内容	参加者数（人）
4/15(土)～6/11(日)	ペーパーストローでヒンメリをつくろう	2,295
7/15(土)～9/18(月・祝)	パカッと玉子カードをつくろう	627
10/3(火)～10/31(火)	ガイコツ飾りをつくろう！	300
11/1(水)～1/8(月・祝)	グリーティングカードをつくろう！	553
1/24(水)～3/6(水)	ハンコでつくる屋島カレンダー	1,244
合計		5,019

(ウ) 美術館学習

サンクリスタル学習等と連携させた美術館での鑑賞・施設学習を実施した。

サンクリスタル学習参加校のうちで、引き続いて美術館での学習を希望する小学校を受け入れ、展覧会の団体鑑賞や施設見学を行った。

6月7日から1月12日まで、参加校14小学校 延べ960人（引率者含む）。

また、サンクリスタル学習以外の美術館学習は、参加校47校、延べ1,480人であった。

(エ) 博物館実習・インターンシップ・職場体験等

博物館実習の実施については、甲南女子大学ほか8大学から博物館実習生9名を受け入れた(8/1～8/6)。また、せとうち観光専門職短期大学「臨地実務実習」として2名、職場体験学習として中学校5校計11名、その他インターンシップ等3件48名を受け入れた。

(オ) 学校との連携事業

実施日	内容	参加者	開催場所	参加者数(人)
4/6(木) ～7/22(土)	前期授業「芸術文化」 (全15回)	高松短期大学秘書科学生	高松大学、 美術館	—
4/30(月)	学校と美術館のためのプログラム	教員ほか	講堂・展示室	2
6/26(月)	おでかけ美術館	下笠居小学校5・6年生	学校	86
6/27(火)	おでかけ美術館	亀阜小学校6年生	学校	90
7/27(月)	香川県中学校教育研究会 美術部会高松支部「夏季実 技研修会」	市立中学校美術教員	講堂・展示室	24
9/1(金) ～10/31(火)	ハロウィン・フォトスポット の制作及び展示	勝賀・玉藻・古高松中学校美 術部員	各学校、 美術館	87
2/19(月)	おでかけ美術館	鶴尾小学校3年生	学校	23

実施日	内容	参加者	開催場所	参加者数(人)
2/27(火)	おでかけ美術館	下笠居小学校3・4年生	学校	70
3/1(金)	おでかけ美術館	紫雲中学校美術部員	学校	19
3/6(水)	おでかけ美術館	亀阜小学校3・4年生	学校	175
合計				576

#### (カ) 美術館の日

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育めるよう、また、高松市美術館が昭和63年8月6日(土)に開館したことに由来し、平成21年度から8月の第1土曜日を「美術館の日」と定め、観覧料を無料とするほか、多くの市民が集い、楽しんでいただくための各種プログラムを実施した。

特別展観覧者1,262人、ふらっとアート参加者241人、ミニコンサート156人など2,887人の来館者(参加者数は展覧会入場者数と重複)があった。

#### (キ) イベント(公開制作・パフォーマンス)

開催日	出演・講師等	内容	場所	参加者数(人)
4/15(日) 午前/午後	石本藤雄(テキスタイルデザイナー、陶芸家) 平井千里馬(スコープ代表)	サイン会	エントランスホール	138
5/6(土)	当館学芸員	こども鑑賞プログラム	2階展示室、こども+	4
5/27(土)	木内ひとみ(日本ノルディックフィットネス協会ベシックインストラクター、香川フィンランド協会会員)	はじめての「ノルディック・ウォーキング」	高松市中央公園ほか	4
6/22(木)	当館学芸員	出張美術館	牟礼コミュニティセンター	60
7/3(月)	当館学芸員	出張美術館	山田総合センター	46
7/15(土)~9/18(月・祝)		特別企画「小川信治展 Better Half 回帰の手法」	展示ロビー、図書コーナー、ランチギャラリー	—
7/16(日)	協力:託児ボランティアあゆみ	託児サービス(上田薫展)	こども+	4
9/23(土・祝)~11/12(日)		高松市美術館35周年記念 特別企画「川島猛展」	エントランスホール	—

開催日	出演・講師等	内容	場所	参加者数 (人)
11/8 (水) 午前/午後	細谷美宇 (東京国立近代美術館 館研究員)	国立美術館巡回展 東京国立近代美術館 の対話鑑賞プログラ ム「ギャラリートーク」	2階展示室	※18
11/11 (土)	進行役： 東京国立近代美術館 ガイドスタッフ	国立美術館巡回展 東京国立近代美術館 の対話鑑賞プログラ ム「オンライン鑑賞 会」	オンライン	14
11/19 (日)	野村誠 (音楽家)	記念パフォーマンス	2階展示室	26
11/25 (月)	当館学芸員	リングワンドルング を歩く (大島)	大島	3
2/18 (日)	摺り：渡辺英次 (摺師) 解説：渡邊章一郎 (渡邊 木版美術画舗代表取締役)	新版画の摺りの実演	エントランス ホール	227
3/3 (日)	出演：野村誠 (ピアノ) 鍵盤ハーモニカほか) 加藤綾子 (ヴァイオリン) 臼杵美智代 (サヌカイト) 高松市立国分寺・山田中学校 合唱部	「高松市美術館開館 35周年記念」野村誠コ ンサート「音楽の未来 を作曲する～サヌカ イト/即興/村山籌 子」	エントランス ホール	230
合計				756

※参加者数は展覧会入場者数と重複

#### (ク) エントランス・ミニコンサート等

特別展会期中に、県内演奏家等によるミニコンサート等をエントランスホールで開催した。

内容	開催日	行事名	監修・出演等	関連する展覧 会	入場者数 (人)
ミニ コン サー ト	6/3 (土)	Earth～光と影の交 錯する大地への祈り	藤田哲志 (フルート) 松繁哲朗 (サクソ) 林千景 (マリンバ) 大山まゆみ (ピアノ)	フィンラン ドのライフ スタイル展	230
	8/5 (土)	Soundscapes in Summer	香川大学ウィンド・アンサン ブル	上田薫展	156
	10/7 (土)	Les vents de la musique modern (近代音楽の風)	見垣佑介 (ファゴット) 長岡佐和、小林遼香 (ピアノ) 三好結愛 (フルート) 青山夕夏 (監修/フルート)	国立美術館 巡回展	82
	2/24 (土)	美しき日本の心を歌 う ～日本の四季を巡っ て～	藤田哲志 (フルート) 三木ユリ (メゾソプラノ) 三木伸哉 (バリトン) 大山まゆみ (ピアノ)	川瀬巴水展	208
合計					676

### (ケ) エントランスホール活用事業（公募企画）

エントランスホールの活用を図り、来館者に気軽に文化芸術に触れてもらうため、コンサートやダンス公演等で同ホールを利用する団体を募集した。（初年度 令和4年度）

内容	開催日	行事名	主催団体	入場者数 (人)
コンサート	11/25 (土)	ひびきの空間と目 (出演：藤原清登及び伊藤千枝子)	Gargantua	77
コンサート	12/3 (日)	音楽のミニアチュール クリスマスコンサート	高松交響楽団	363
ダンス公演	12/9 (土)	高松市美術館で踊る社交ダンスのひととき	高松市社交ダンス同好会	127
ファッションショー	12/24 (日)	Fasshon Collaboration 2023 ファッションショー（2回公演）	吉田愛服飾専門学校	371
コンサート	1/20(土)	Saxophone Ensemble Concert	ダッパーサクセーバーズ	217
コンサート	3/10(日)	栗っ子コーラスコンサート ～みんなの歌で笑顔のわを広げよう～	栗林小学校合唱部	279
コンサート	3/16(土)	高松から世界旅行 (出演：青柳妃姫及びかとうかなこ)	高松から世界旅行実行委員会	102
コンサート	3/17(日)	美術館コンサート —和楽器で描く四季の風景—	邦楽アンサンブル煌	217
コンサート	3/24(日)	祈りの音楽 (出演：片山智夫及び藤川孝子)	ブルーエン・アンサンブル	45
合計				1,798

### ウ 施設の提供

美術館の講堂を講演会・コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供した。また、美術図書コーナー、こども+（こどもアートスペース）を一般利用者に開放した。

施設名	利用回数等	利用人数
講堂	44回	2,287人
講座室	398回	5,681人
美術図書コーナー	309日	8,762人
合計		16,730人

### エ 美術資料の収集

美術品取得方針に基づき、美術館に収蔵する美術品を計画的・系統的に収集した。また、美術館の二次資料として、美術図書等を継続的に収集した。

### オ 美術館ボランティアの活動

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術館ボランティア c i v i（シヴィ）を設置し、平成11年度から活動を行っている。令和5年度は、特別展のギャラリートークのほか、ワークショップのアシスタント等の活動を行った。（令和5年度登録者数18人）

## カ 高松市美術館サポートショップ事業

会期中の特別展チケットの半券、又は有効期間中の定期観覧券（年間パスポート）を提示することにより、参加店舗（約 740 店舗）で割引などの特典を受けることができる高松市美術館サポートショップ事業を実施した。

また、各サポートショップに「高松市美術館サポートショップ利用者割引券」を設置し、サポートショップ利用者が割引券を美術館に持参することにより特別展観覧料が割引になる相互割引を行った。

## キ ブランチギャラリー

高松丸亀町商店街に移転オープンした「しごとプラザ高松」のショーウィンドーにおいて、同商店街との連携事業として、高松市美術館の新しい展示空間「ブランチギャラリー」を令和 3 年 3 月 13 日に開設した。令和 5 年度は 8 展の展示を行った。

## ク 新型コロナウイルス感染症対策

休館・休室は行うことなく、基本的な感染対策を講じながらの運営に努めた。

## ケ ICTの活用

SNSのフォロワー数 令和6年3月31日現在

Facebook 1,233 人

X(旧Twitter) 2,015 人

YouTube 465 人

Instagram 5,195 人

## コ キャッシュレス化

市民サービスの向上及び新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和 4 年 3 月 1 日よりキャッシュレス決済システムを導入した。観覧料や図録代金等の支払の際に、クレジットカードや電子マネーの利用が可能となっている。

## (2) 令和6年度の事業計画

### ア 展覧会の開催

#### (ア) 特別展

展覧会名	会期	日数 (日)	展覧会の内容
日本の巨大ロボット群像 —巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現	4/20 (土) ～6/16 (日)	50	『鉄人 28 号』(1963 年)をロボットアニメの嚆矢として、その後『マジンガーZ』(1972 年)の大ヒット、そしてロボットアニメの流れに新風を吹き込んだ『機動戦士ガンダム』(1979 年)の影響下、現在に至るまで多数のロボットアニメが制作され、魅力的なロボットがデザインされてきた。本展では、『鉄人 28 号』から近年のロボットアニメにおけるロボットのデザインとその映像表現の歴史を検証し、その魅力に迫る。
谷川俊太郎展 絵本★百貨展	7/20 (土) ～9/16 (月・祝)	51	現代日本を代表する詩人・谷川俊太郎(1931 年～)は、1960 年代から現在まで、100 名以上のイラストレーターやアーティストたちと 200 冊にも及び絵本を制作してきた。ことばあそび、ナンセンスの楽しみから、生と死、戦争まで、そのバラエティ豊かな絵本には一貫して読み手に対する谷川の希望の眼差しが向けられている。本展では、多彩なクリエイターとともに、原画を始め、映像や音、インスタレーション作品などを交えながら約 20 冊の絵本の世界を紹介する。
五大浮世絵師展 —歌麿・写楽・北斎・ 広重・国芳—	10/12 (土) ～12/8 (日)	50	女性を優麗に描いた喜多川歌麿、劇的な役者絵で人気を博した東洲斎写楽、風景・花鳥・人物と森羅万象を独自に表現した葛飾北斎、名所絵を中心に浮世絵に新風を吹き込んだ歌川広重。浮世絵が最も成熟し、黄金期と呼ばれた天明・寛政期(1772～1801 年)に活躍した四大スターに加え、幕末期そのユーモラスな画風で大いに存在感を発揮した歌川国芳。美人画、役者絵、風景画など各分野で人気を博した五大浮世絵師の代表作を中心に約 140 点を紹介する。
高松コンテンポラリー アート・アニュアル vol. 12	2/1 (土) ～3/16 (日)	38	本展覧会シリーズではこれまで、独創性、創造性のある現代美術作家をグループ展形式で紹介し、新しい芸術表現を高松から発信してきた。13 回目となる今回は、横山翔平(1985 年岡山生まれ)を始め、それぞれの視点から自分自身につながる作品を生み出す作家たちを紹介する。また、アーティストトークなどのイベントも開催する。
4 展覧会		189	

## (イ) コレクション展

展覧会名	会期	日数 (日)	展覧会の内容
第1期	4/6(木) ～7/7(日)	80	展示室1 うつしとる一光・時間・情報・動き 展示室2 讃岐漆芸が見せる自然美
第2期	7/13(土) ～9/29(日)	68	展示室1 [現代の美術] 私たちの生きる時代を感じさせる戦後日本の美術、また、これに関連のある20世紀以降の世界の美術を順次展示。
第3期	10/2(水) ～12/26(木)	74	展示室2 [讃岐漆芸と金工] 玉楮象谷に始まる讃岐漆芸、北原千鹿を中心とする金工の流れを中心に展示。
第4期	1/7(火) ～3/30(土)	70	※3/8～3/30の期間は、常設展示室1において「第42回日本伝統漆芸展」を開催。
4期		292	

## (ウ) 貸館

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、一般展示室・企画展示室及び市民ギャラリー・講堂を提供する。

## イ 教育普及活動

主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やミニコンサートなどを開催するほか、教育普及活動を行う。

### (ア) 講演会等の開催

主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やトーク等を開催する。

### (イ) ギャラリートーク

### (ウ) ワークショップ

地元講師や県外講師によるワークショップを随時開催する。

### (エ) 子どものアトリエ

美術作家による連続の美術講座を開催し、子どもたちに学校の図画工作の授業とはまた違った環境での美術体験を提供する。

### (オ) こども+ (こどもアートスペース)

リニューアルオープンにより新設された「こども+(こどもアートスペース)」を活用し、誰もが気軽にアートを楽しむことができるプログラム「ふらっとアート」などを提供する。

### (カ) 美術館の日

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育めるよう定める「美術館の日」において、多くの市民が集い、楽しみにぎわう美術館となるよう、観覧料の免除や親子で楽しめるイベントなどを開催する。

## ウ 施設の提供

美術館の講堂を講演会、コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供する。

## エ 美術館学習

美術館展覧会の鑑賞教育等学校活動分野への積極的な活用を図るために、サンクリスタル学習及びこども未来館学習参加校のうち希望校を美術館でも受け入れる美術館学習を実施する。

## オ 動画配信「おうちでアート」

新たな美術鑑賞の手法として、「おうちでアート鑑賞編」として展覧会作品解説を、また「おうちでアート制作編」として簡単な作品作りなどを動画配信する。

## 4 高松市塩江美術館事業概要

### (1) 令和5年度事業報告

塩江美術館の利用者数 16,118人 (開館日数 308日)

#### ア 展覧会の開催

- ・開催展数 10展 (内訳 企画展7展・常設展3展)
- ・入場者数 15,254人

#### (ア) 企画展

開催展数：7展 開催日数：261日間 入場者数：7,666人 (1日平均29.4人)

展覧会名	会期	日数 (日)	入場者数 (人)	展覧会の内容
GrandpaとGrandson ー南岳と桓夫ー	4/15 (土) ～5/28 (日)	38	535	東かがわ市出身の漢学者・藤澤南岳と、南岳の孫であり、著名な小説家・藤澤桓夫。2人の書を紹介した。
後藤健吉 朝子展 モノクロームの光	6/6 (火) ～7/17 (月・祝)	37	739	漆芸家・後藤健吉とオリジナルの手法を用いて空間造形する後藤朝子による光をキーワードにした展覧会を開催した。平蒔絵という技法を用いた健吉の漆作品と禅僧・仙厓義梵の書画「○△□」にちなみ、現実の風景に○と△と□を見つけた写真作品と禅画「十牛図」にちなんだ朝子の立体作品を紹介した。
あそびにおいでよ! ～2023夏休み 大島 よしふみ彫刻展～	7/25 (火) ～9/3 (日) ※8月15日は台風接近に伴う警報発令のため臨時休館	36	1,743	大島よしふみが「楽しさ」を追求しつつ作成した昆虫などの作品が並び、故郷で過ごした夏の1日を切り取ったかのような空間を再現した。
Birth…then…Full ～すべては、その一滴から～ ーガラス作家 杉山利恵展ー	9/12 (火) ～10/22 (日)	36	2,509	ガラス作家・杉山利恵が、庵治石を溶かしたブルーのガラスと、オリブを溶かしたグリーンのガラスを用いて表現した作品 18点を紹介した。

展覧会名	会期	日数 (日)	入場者数 (人)	展覧会の内容
第37回思可牟展	10/31 (火) ～12/10 (日)	36	1,124	京都市立芸術大学を卒業した香川県出身若しくは、在住の作家で構成された美術グループ「思可牟」による展覧会。日本画、陶芸、立体などの作品 37 点を紹介した。
女性を描く	12/19 (火) ～2/4 (日)	37	388	所蔵作品の中から、4人の画家たちが女性を描いた作品に焦て、それぞれの女性の描き方の特徴について紹介した。
生きるバランス —画家 杉本羽衣展—	2/14 (水) ～3/31 (日)	41	628	画家・杉本羽衣が、作家として母として、そして一人の人間として自分らしくあろうとしつつ制作した新作を含む作品 26 点を紹介した。

#### (イ) 常設展

美術館の所蔵品のうち、テーマを設定して年間3回の入れ替えで展示した。

開催展数3展、開催日281日間、入場者数7,588人（1日平均27人）

展覧会名	会期	日数 (日)	入場者数 (人)	展覧会の内容
※令和4年度 第Ⅲ期 香川の作家シリーズ③ 池田利夫／木版画に 魅せられて	4/1 (土) ～4/16 (日) *会期は令和4年 12/6 (火) から	14	267	香川県在住の池田利夫が制作した木版画作品の中から「身近な植物」をモチーフに制作して生物学的知識や歴史的背景が盛りこまれた作品を紹介した。
令和5年度 第Ⅰ期 鉛筆と淡彩で描く世界 —伊藤義久展—	4/25 (火) ～8/6 (日)	90	1,889	伊藤義久（1917～2003）の水彩の中でも特に淡い色を用いて、透明感のある風景画作品24点を紹介した。
令和5年度 第Ⅱ期 字をじっと見る	8/26 (土) ～11/26 (日)	80	4,224	東アジア文化圏の文化の根幹である漢字、そして漢字から作られた仮名に焦点をあてた作品27点を紹介した。
※令和5年度 第Ⅲ期 風景の切りとり方	12/5 (火) ～3/31 (木) *会期は令和6年 4/14 (日) まで	97	1,208	写真家比嘉良治、所幸則の作品と、講師に吉川直哉、田中勝次、川島猛らを迎え1993年に始まった「日米ヤングアーティストフェスティバルinしおのえ」の出品者による作品25点を紹介した。

※年度をまたいでの開催(年度毎の実績)

#### イ 美術講座等

##### (ア) 美術講座

企画展に合わせたワークショップや、陶芸教室、風鈴づくり教室等20講座を開講した。(延べ275人参加)

#### (イ) 美術館の日

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育めるよう、また、高松市美術館が昭和 63 年 8 月 6 日（土）に開館したことに由来し、平成 21 年度から 8 月の第 1 土曜日を「美術館の日」と定め、観覧料を無料とするほか、多くの市民が集い楽しんでいただくための各種プログラムを実施した。(246 人参加)

#### (ウ) 芸術的催し物

タイトル	開催日	出演	内容	入場者数 (人)
高松アーティスト・イン・レジデンス2023関連イベント「ボロ人形つくっちゃおうの会」	11/18 (土)	chihuako (ちうあこ)	古着古布で人形を制作	7
野村誠 記念パフォーマンスin塩江美術館	11/19 (日)	野村誠	高松市美術館「令和5年度国立美術館巡回展20世紀美術の冒険者たち」関連イベントとして、ピアノパフォーマンスを開催	20
合計				27

#### ウ その他事業

##### (ア) 貸館（企画展示室・ホール及びデッキ等）

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、企画展示室・ホールを提供した。

##### (イ) 博物館実習・インターンシップ・職場体験等

博物館実習生施設見学 5月27日（土） 6人（四国学院大学）

#### エ 公有財産目的外使用（貸出）

喫茶室の貸出（令和4年4月29日営業開始）やデッキの貸出を行った。

#### オ 美術資料の収集

##### ○ 収集の方針

- ・香川県にゆかりのある作家の作品
- ・塩江に関する資料等

#### カ 新型コロナウイルス感染症対策

休館・休室を行うことなく、基本的な感染対策を講じながらの運営に努めた。

## (2) 令和6年度の事業計画

### ア 展覧会の開催

#### (ア) 企画展

展覧会名	会期	日数 (日)	展覧会の内容
茂呂毅 写真展 Benign Neglect —ジャパニーズ アメリカン ボンサイ	4/13 (土) ～5/26 (日)	38	第二次世界大戦中、強制収容を経験した日系アメリカ人の心の拠りどころとして始められた盆栽も月日が経つにつれ、忘れさらられ枯れていくものもあったが、一人の日系アメリカ人の手によって一部が生き返り始めた。このような再生する盆栽を見て、サンフランシスコを拠点に制作活動をしている写真家・茂呂毅 (1978～) が、移り行く盆栽の命の意味を考え写真に残した作品を紹介する。
渋田薫展 Sea Sky Nature	6/4 (火) ～7/21 (日)	42	香川県在住の現代美術家・渋田薫 (1980～) は、「世界は音でつながっている」という独自の考えを元にのびやかで見るものを心躍らせる作品を制作している。本展では、当館が開館するきっかけとなった画家・熊野俊一 (1908～2005) の作品に感銘を受けた渋田が、熊野の作品に感化されて生まれた新作を始め約 30 点を紹介する。
福井一真展 cubeforest	7/30 (火) ～9/8 (日)	36	立体造形作家・福井一真 (1979～) は「構造」に興味を持つことで、制作した後の発見が次につながると考える。本展では、「四方十字組手」を用いることにより生成される木を素材とした立方体造形作品等を紹介する。
早瀬太亮展	9/15 (日) ～10/27 (日)	37	徳島県在住の現代美術家・早瀬太亮は「チャレンジとくしま芸術祭」の展示部門で 2020 年から 3 年連続グランプリを受賞するなど地元で根ざした制作活動をしている。本展では、インスタレーションを用いて塩江を表現していく。
田淵太郎×岡本尚子 二人展 scenery	11/2 (土) ～12/15 (日)	38	塩江で窯を持つ陶芸家・田淵太郎 (1977～) は、シンプルな形に、焼成時の目に見えない、人間が操れない自然の力をプラスさせた作品を生み出す。一方、画家・岡本尚子 (1979～) は、「物事の捉え方」に重点を置いて制作している。本展では、田淵の作品と田淵の作品を描いた岡本の作品を併せて紹介する。
太田仙鳩書店 -あなたの心に書を届けたい-	12/21 (土) ～2/9 (日)	39	書家・太田剛 (1960～) が、「伝える」をテーマに次世代に伝えたいメッセージを書でしたための作品を紹介する。
Folklore(フォークロア) -いいつたえ- (仮)	2/18 (火) ～3/16 (日)	24	当館収蔵品の中からテーマを設けて作品を紹介する。

## (イ) 常設展

美術館の所蔵品のうち、テーマを設定して年間3回入れ替えで展示する。

展覧会名	会期	日数 (日)	展覧会の内容
令和5年度第Ⅲ期 風景の切りとり方	4/2 (火) ～4/14 (日) *令和5年 12/5 (火) から	11	写真家はどのように風景を切りとっているのか。構図、構成、写真とは何かなどを考察する。
令和6年度第Ⅰ期 はじまりを新しむⅠ 熊野俊一を知る	4/23 (火) ～8/25 (日)	108	熊野俊一の渡欧以前の初期作品と開館始動時に収蔵された国内のアーティストの作品30点を紹介する。
令和6年度第Ⅱ期	9/3 (火) ～12/22 (日)	96	当館収蔵品の中からテーマを設けて作品を紹介する。
※令和6年度第Ⅲ期	1/4 (土) ～3/30 (日) *令和7年 4/13 (日) まで	74	当館収蔵品の中からテーマを設けて作品を紹介する。

※年度をまたいで開催(日数区切り)

## イ 美術講座等

### (ア) 陶芸教室、風鈴づくり教室、ワークショップ

- a 陶芸教室 開催回数：1回(全8回)
- b 風鈴づくり教室 開催回数：4回 オリジナルの形の風鈴を陶土を使って制作
- c ワークショップ 企画展関連のワークショップを開催

### (イ) 芸術的催し物

コンサートなど他分野におけるアートイベントを開催。

### (ウ) 美術館の日

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育めるよう定める「美術館の日」において、多くの市民が集い、楽しみにぎわう美術館となるよう、観覧料の免除や県内中学校美術部の参画によるワークショップを開催する。

## ウ 施設の提供

美術館の企画展示室・ホール・陶芸館を作品の発表・創作活動の場として提供する。